明治三十九年八月十日第三種郵便物認可

京城日報

(一) 第四千七百六十四號 (木曜日) THE KEIJO NIPPO 大正十年一月二十七日

警察官後援會

京城日報

警察は、社會の安寧を維持し、禍亂を未發に防ぎ、犯罪を未萌に制し、風紀風俗の頽敗を矯め、公衆衛生の保全を圖り、交通の安全を齎め、水火の災、盜賊の難を除き、其他百般の妨害を除き、社會の安寧を保持し、民衆の幸福を增進することが第一義となつて居る。斯かる公安維持の大任を帶び、人民保護の重責を擔ふ所の警察官が、從來民衆の感謝の目標とならずして、却て怨府となつた傾きのあるのは、一種奇異の感に打たるゝのであるが、是は警察が社會の安寧秩序に對する、人若くば天然の危害を豫防する目的の爲に、直接個人に對して、自由を制限する場合あること、一は人民の警察官に對する因襲的誤謬、即ち警察官は、人を拉して苛責拷訊するもの、恐ろしき役人であるとして、畏怖嫌惡すると、又多數の警官中には、『己惡補助』てふ大精神を沒却して、官權を濫用するものがあることが、原因となりて、互角相互の間に親しみを缺いで居るのが、今日警察官と民衆との關係である。要するに警察官と民衆との間には相互の諒解が缺けて居ると思はれるが、是は警察の發達上誠に遺憾の事と謂はねばならぬ。

朝鮮は孫一派の騷擾以來、著しく治安を攪亂され、民心は惡化し、不逞漢の陰謀は相繼で隨處に行はれ、殺人強盜の類極に横行し、剩へ惡疫は四時流行して宛然修羅場の感がある。隨て民心の觀察、不逞輩の檢擧、犯人の逮捕惡疫の豫防等に當つてゐる一萬何千名の警察官は治安保持の爲、寢食を忘れて、努めて居る。就中西北地方及び國境方面に駐在せる警官の如きは、何時不逞輩や暴徒の襲擊を受くるか判らない、殊に辟遠の地に於ては、交通の便はなく、語るべき友に乏しく、彼等は只の一夜と雖も、恐らくは暖き夢を結ぶことが能きぬであらう。而して人の親として最も頭を痛むる子弟の教育の如きは、全く其途なき有樣である。然も吾人は寡聞にして、未だ此等警察官の後援とか、其職責の遂行を助け、其遺族に對する保護の方法等の講ぜられて居るを聞かぬ。是は民衆が警察に對する因襲的誤謬の然らしむる處もあるであらうが、既に軍人には國民の後援會があつて、彼等が軍國の爲めに忠誠を盡すに對して、相當の救恤を捕つて居る。今日、此の最も困難なる朝鮮治安の任にある警察官の爲めにも、後援的企ての當然起るべきを思ふ。

今や朝鮮は、齋藤總督の文化政策に依りて、諸般の施設其の緒に就き、一視同仁の趣旨に基いて、鮮民の指導誘掖に努め、著々として其實蹟を擧げんとして居るのである。此の時に當り常に人民と接觸する警察官が其の天職を完ふすると否とは、統治の上に大なる關係を有するものである。若し常に人民と接觸して、直接官權を使用する警察官が、官權を濫用して統治の大精神を裏切らんか、總督の折角の計畫も水泡に歸するのである。故に警備の充實と共に、其の實質の改善を切望して止まざるものなるが、吾人は、先づ此の困難なる治安の任に當れる、警官諸君の爲めに、朝鮮警察官後援會の組織を慫慂せんと欲するものである。而して其方法に至りては、優良警官の表彰もあるべく、不良警官の警告も可なるべく、此の機關は、間接に警察官の品性の向上を圖るの一手段ともなるであらう。若し夫れ從來人民と警察官との障壁の撤去に努め、相互の諒解を圖る等、其運用宜しきを得ば、所謂國民警察の實現を促進する一手段ともなるのである。要するに凡ての希望を叩除するも、此際警察官の爲めに後援會を組織することは、決して徒爾ならざるを思ふものである。

文化生活と教育 (六)

京大教授文學博士 小西重直氏

第四は理性的經濟、是は例へば道德上より云ふと自分一己若くは或る少數の爲ではなく社會全般の利益例へば自分は斯ういふ儲けをしたいが併し乍ら是は社會全般の爲には怎うかといふ顧慮を持つて居る。然うして其の利益を尠くとも矛盾しないといふ範圍に於て人類全體、社會全體の背景によつて營むといふ經濟を以て立つといふ經濟があり得ると思ふ。然うして斯かる經濟が將來進步すれば茲に眞の文化的經濟が成立し得るであらう而して是は眞善美の善といふ方面から見たのである斯樣に見ると經濟といふものは例へば昔希臘のプラトーは人間の階級を三つに分けて其最高階級を三十五歳とし、其三十五歳迄勉強して然うして社會的の實務に當り學理にも秀で立派なる經驗優れたる知識に富む人間が社會を治める第一階級であるとし其次のものは學問は餘り出來ないけれども勇氣に富み腕前も強いといふもの、是は國を護る方である。次に第三最下級は物を造る所の生產者即ち此の經濟社會の人間と云ふ風に斯樣に經濟といふもの、活用と其生活を人世に於ける最も低い階級に見ると同時に經濟的生活を固定的に見て發展的に見ない。此考へも今猶現代の理想主義的態度を取る人の中に動もすれば是に類する考へをする人が殘つて居る獨逸の哲學者ナトルフは新カント派の方で今日では先づ社會方面の開拓者としては人間の此の生活の悟性的と云ふ者を意志に見て說いて居るが此の人間の最も原始的な生活を衝動的生活と云うて居る。即ち其の衝動的生活と經濟的生活とのと相對して居る。ナトルフは矢張り經濟生活と云ふものは人間生活の進步に於ける最も低い所の時代に相當するものであると云ふ風に考へて居る。是等は新カント派としては知名な人であるが猶且つ希臘の昔日プラトーの考へを十分脫し得ないのである。今度の戰爭の結果種々な影響があつたから或は新しき方に變つて居るかも知れないが兎に角私の見た今迄の書物では變つた說を見ない。動もすれば理想主義に傾く學者は經濟的生活を斯樣に低く見ると云ふ傾向を幾らかもつてゐる。然るに之に反して物質上の方面に傾く所の學者は經濟的生活と云ふものを一概に賤しいものであると云ふ風に反對に見る例へばマルクスの如きは其最も大なるものであると思ふ。マルクスが經濟生活の內でも生產生活と云ふものを以て社會生活の根柢と見たことは既に承知の事であらうと思ふが然も彼が社會全般の、人々の利益と云ふよりは直接には斯樣に勞働階級の人の爲めにも骨を折り其の人の爲にも苦物を書くと云ふ態度が餘程鮮明であり又夫れを救はうといふ態度が餘程強いものがあつた併し是は學理的に云ふと先づ第三段目の悟性的の階段であつた未だ理性的の眞の文化的態度ではないと私共は考へる。苟くも眞の文化的眞の理想的態度であるならば經濟生活に於ても社會全體の利益を見なければならぬ社會全體の幸福も見なければならぬマルクスは唯一部分の階級のみを主とした運動が八釜しかつたのである故にマルクスの經濟觀は私共の云ふ人間の悟性的に屬するもので眞の文化的階段には至らないものであると見るのである殊にマルクスは非常に理想主義を排斥して居るが併し彼れにも所謂理想はあつた即ち今迄不幸な勞働者階級を救はうと云ふ理想があつて其の理想の爲に努力して理想を排しながら而も理想に努力して居ると云ふ矛盾に陷つて居た。哲學と云ふものは宗教人文社會全體の生活を支配する、生產と云ふものは總ての人生を決定すると云ふ持論である而も彼れ自身一種の理想を排斥しながら猶理想に依つて居る。之は自分として矛盾であらうと思ふ。又例へば經濟の生產に於ても只筋肉丈けの力で行くものでない分業があれば其の分業を統一して生產能率を擧げる事が必要である。夫れには理想の力が必要である、殊にマルクスは種々歷史上の方面からも說いて居るが、之を歷史に見ると過去に於ても現在に於ても今も然うであらうと思ふが決して生產の事のみが若くは廣く經濟と云ふ事のみが社會全體を支配する第一のものではないと思ふ

露西亞の出版界

新刊の書籍は丸でソウエート政府の新綴字法に依つて印刷されて居るが、本の賣行きは素晴らしいもので五萬部から十萬部位買取くには何んでもないさうである。ブロークの新詩『十二』は三十四版を重ね其の賣高は二百萬部に達したさうだ。又ルナチヤールスキイ文相が民間の事業を許可したので一般書籍の發行所は既に百五十個所を算へ最近一二ヶ月の間に書籍市場は新刊書を以て充たされて居るといふ有樣である。

三冬吟 (其の八)

大正九、十二、四

鴨

○烈風の當りゐる嶺ぞ鴨飛ばず　紫光

○舟航は早や閉ぢられぬ鴨の江　蘇城

○鴨大群夕日遮ぎり飛ぶこゝよ　草綠

○黍刈れて背戶寂しさや鴨の聲　橙黃子

○鴨飛ぶや沙丘の落暉あかあかと

水面翔る鴨のよさの均くかな

本紙定價 毎號壹錢 郵稅金五錢▲共壹ヶ月前金壹圓卅五錢▲參ヶ月同參圓九拾錢▲六ヶ月同七圓六拾錢▲郵券代用一割増

廣告料金 五號十四字詰一行一圓卅錢 五號同特別二圓六十錢▲二號七字詰同二圓六十錢▲四號九字詰同一圓▲六號十六字詰金一圓三十錢

發行兼編輯人 奧田迫毅
印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番・長六千九二番(振替京城三〇三)

講義錄界の最高權威!一月新學期開講 速かに入會あれ!

監修 齋藤秀三郎先生

講師 英語界の覇王たる正則英語學校講師一同執筆

會期 全二ヶ年半各級僅か六ヶ月修業隨時入學することを得

正則英語學校講義錄

特色 [illegible]

出世の捷徑 [illegible]

世界的知識 [illegible]

英語の眞諦 [illegible]

絕對に信賴 [illegible]

會費 一ヶ月壹圓五十錢 [illegible]

第廿回新學期 [illegible]

入會規則 無代

本校獨特の通信教授 直接通學すると毫も異らず

正則英語學校講義錄發行所 東京市神田區錦町三丁目一丁目 電話神田長二〇四五番 振替東京二八六二八番

商業登記公告

東亞煙草株式會社監査役谷部泰一郎、山口吉、渡邊榮次ハ任期滿了ノ處大正九年十二月二十七日重任シタリ

支配人小山庄三ノ住所ヲ[illegible]市岸通十番地ト變更ス

本店設立。商號バイン商工株式會社本店京城府本町九丁目拾番地目的萬年筆製造販賣、革製文具製造販賣、インキ製造販賣ニ關スル附帶事業ノ一切設立ノ年月日大正拾年一月四日資本ノ總額金拾萬圓一株ノ金額金五拾圓各株ニ付拂込ミタル株金ノ金額金拾貳圓五拾錢公告ヲ爲スノ方法所轄登記所ノ登記事項ヲ公告スル新聞紙ニ揭載シテ爲ス取締役ノ氏名住所京城府旭町貳丁目十二番地山岸祐太郎京城府旭町壹丁目六番地植松貫之助京城府南米倉町二百十番地北島耕造京城府本町一丁目四十二番地佐藤牧太郎京城府本町壹丁目[illegible]番地吉濱一代表取締役山岸祐太郎監査役京城府旭町二丁目一番地田端純一京城府龍山漢江通十一番地遠藤兵作存立時期設立ノ日ヨリ滿貳拾ケ年

右大正十年一月十七日登記

シンガー、ソーイング、メシーン、カムパニーノ朝鮮ニ於ケル代表者ヲ大正十年一月十日京城府貞洞二十八番地フランク、レイモンド、リチャードソンニ變更

右大正十年一月十七日登記

合名會社鈴木商店ハ大正十年一月十四日北海道小樽區內町八丁目參番地ニ支店ヲ設置シタリ

商號設定。商號朝鮮[illegible]營業ノ種類[illegible]營業所京城府[illegible]商號使用者ノ氏名住所京城府[illegible]

右大正十年一月十八日登記

株式會社東一銀行監査役金溶夏ハ大正十年一月十日辭任。取締役趙命九ハ同月十六日死亡シタリ

商號設定。商號濟進[illegible]營業ノ種類漢藥及洋藥種商營業所京城府清進洞八十九番地商號使用者ノ氏名住所同所皮教爽

金澤植ハ其使用スル商號[illegible]ヲ營業ト共ニ大正十年一月十九日京城府諸昌洞百九十五番地金澤植ニ讓渡シ同人ハ之ヲ取得セリ

右大正十年一月二十日登記

株式會社百三十銀行取締役安田善三郎ハ大正十年一月十七日辭任シタリ

南洲貿業株式會社取締役李容宰ハ京城府都染洞百二十一番地ニ轉居セリ

右大正十年一月二十二日登記

株式會社ソーウル社取締役李源弘ハ大正十年一月十一日辭任セリ

株式會社明治屋監査役服部保太郎、安藤德太郎ハ任期滿了ノ處大正十年一月十七日重任シタリ

支店設置。商號合名會社大阪ドラッグ商會本店大阪市西區九條南通一丁目百十八番地支店神戶市福原町五十五番地京都市祇園町北側二百五十番地京城府西中山下百七十二番地黃金町三丁目二百九十一番地目的賣藥ノ製造販賣設立ノ年月日大正七年九月十五日社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格大阪市南區難波新地五番丁五十五番地ノ一金貳千圓內田雲海大阪市西區新町通一丁目八十六番地ノ一金四千圓太田[illegible]存立時期設立ノ日ヨリ滿貳拾ケ年

右大正十年一月二十四日登記

京城地方法院

來ル壹月參拾日(日曜日)午後六時朝鮮ホテルニ於テ新年宴會相催スベク候ハ御出席ノ御方ハ府內旭町貳丁目中津忠義(電話三〇三番)迄御通知被下度候也

追而會費金參圓當日御持參被下度候

京城大和會

監修及解說 片上伸氏

ツルゲーニェフ全集

[illegible]

規定 ▼[illegible]

1 ルーヂン、貴族の家 外一篇
2 其前夜、初戀、父と子
3 煙、不幸な女、曠野の王
4 春の流、處女地 外二篇
5 獵人日記
6 短篇集 十八篇
7 短篇集 二十四篇
8 評論集及散文詩
9 回想錄及旅行記
10 書簡集及評傳

(譯者) 細田民樹氏 谷崎精二氏 古館清太郎氏 秋庭俊彥氏 小野浩氏 田中純氏 植村宋一氏 林尾紹夫氏

ドストイェフスキー全集

監修 片上伸氏 昇曙夢氏

1 死人の家 外三篇 田中純
2 臆病者 外三篇 細田民樹
3 罪と罰 江口渙
4 白痴 細田源吉
5 惡靈 植村宋一
6 生意氣盛り 外四篇 植村宋一
7 カラマゾフ上 廣津和郎
8 家の兄弟下 廣津和郎
9 作家の日記上 富士辰馬
10 作家の日記下 [illegible]
11 短篇集 八篇 [illegible]
12 短篇集 六篇 米川正夫
13 書簡集 新城和一

規定 [illegible]

會員募集 內容見本會則申越次第送呈 〆切二月十日

株式會社冬夏社 東京麴町三番町八二 電話九段一五二三番 振替東京四三五四四

相場下落!!

‖弊店は例により卒先して値下げを斷行‖

あり品は全部赤札付き値下げ!

この値下げ斷行の御披露として

‖銘仙が本當に買ひよくなつて參りました‖

下落の新品續々入荷致します!

京城本町

ちゝぶや

電話八九〇番・振替三〇二番

一月二十七日より五日間

一本 秩父銘仙(縞男女向き 新婦人向き) 金九圓八十錢均一
一反 縞新 金十圓五十錢均一
一上等 裏地金巾(黑八納戶付) 一反 金二圓五十錢均一
一流行 御羽織裏(甲斐絹又は秩父絹友仙一丈三尺物) 一枚 金四圓八十錢均一

○地方よりの御注文は、男女お年ごろ、柄のお好みなど、御申越し下され候はば適當の柄相撰み代金引換を以て御送り申上ぐべく、萬一御不向きの節は、お取替は申迄もなく現金にてもお戾し申上ぐべく候

○御送金は振替口座三〇二番へ御拂込み下され候はば、御便利、確實に御座候

○見本は調製これなく差上げかね候

肥料

大豆粕 油粕 過燐酸 骨粉 木灰 サンソ液 各種

京城南大門通

戸田農具株式會社

電話長三八六番 三〇六五 三三七〇番

振替京城三七五

(農器具製繩機各種在庫)

英國製 剃刀

PAMPA印 GOLDEN FLEECE印

金五圓ヨリ拾貳圓

各種多數直輸入到着仕候

京城本町 塚谷洋品店

特約店

元山 飯山洋品店
平壤 盛昌洋行
鎭南浦 松岡洋品店
仁川 明治屋洋品店

第四十四回帝國議會

朝鮮統治問題應酬

湯淺凡平氏の質問、首相と陸相の答辯

（廿五日）衆議院本會議

二十五日午後衆議院本會議に於て國民黨の湯淺凡平氏は朝鮮統治問題に對し質問をなせり之に對し原首相及び田中陸相は左の如く答辯す（東京特電）

原首相 政府の朝鮮に對する統治方針は云ふ迄もなく日韓併合の本旨並一視同仁の大詔に依り漸次朝鮮の進步を圖り適當の時期に於て完全なる日鮮人無差別の實現を期す 然して政府は朝鮮現下の事情に顧み種々の施設をなせり即ち警兵制度の改革、地方廳の權限擴張、教育制度の調査、地方諮問機關の新設、鮮人任用範圍の擴張の如き之なり政府は朝鮮開發の爲昨今兩年に亘り國庫より少からざる補給を與へ出來得る限りの施設に努め鮮人の民心又大體に於て安靜に歸し新政の趣意を解するに至れり間島の出兵も支那政府の完全なる保障を得て目下少數の兵隊を除くの外何れも撤兵せり又爆彈騷ぎも漸次下火になりたるのみならず之を以て朝鮮の危險云々を論ずるは不可なり兎に角政府は最初の宣言に基き朝鮮人心の自覺と相俟ち朝鮮の文化及び産業を進步せしめ漸次內地同樣の施設を爲さんと欲す

田中陸相 朝鮮國境の警備に就ては出來得る限り警備を增さむと欲し內地軍隊より增遣する心算なり

質問戰を繼續

議場珍らしく寒がる

廿五日の衆議院

二十五日の衆議院は連日の質問戰に禮讓佗忽の色なく議席空席なし傍聽人は貴族院の繼續せざる爲其の溢れを喰つて定刻既に滿員午後一時十五分開議與議長より國務大臣に對する質議通告が廿餘名ありて隨分時間を要するより此際日程に入ては如何ご謀り滿場異議無く日程に入る

第一國有法案 高橋大藏大臣登壇國有財產を統一整理するの必要あり仍つて本案を提出せりご提案の理由を說明し十八名の委員附託

第三少年法案 第五矯正法案 右兩案は相關聯する案に就き一括議題こし大木法相提案の理由を說明し十八名の委員附託是に

望月氏（自席より） 浦鹽に於ける米國將校射殺事件の眞相如何ご問ふ之に對し

田中陸相 其の出來事は去る一月八日夜浦鹽駐屯の我が步哨が露語にて米國將校を誰何せるに米國將校が然りご答へたりご言ひ然らずご答へたりご云ひ其の點が問題たりし我兵に誰何權ありや否やに就ては浦鹽領事より治安維持の依賴を受け其の旨浦鹽各警備機關にも通告を爲し置きたり隨つて誰何權あるは明かなり會談に於て目下審理中に屬すご答へ次で庚申俱樂部の南鼎三氏登壇

地方制度に就ては政黨內閣は却つて官僚內閣よりも不公平なり之は實に慨歎に堪へず昨日農商務大臣が救濟を求めざるが故に救濟せずご言へり苟

內田外相（登壇） 日英同盟は斷じて偏務的にあらずご答へ更に床次內相の登壇にて納稅問題につき答辯する所あり次で憲政會の

下岡忠治氏（登壇） 西伯利出兵問題に關し昨日貴族院に於て加藤總裁のなせると同樣の質問を繰り返し西伯利出兵により得たる所は列國の疑惑ご露國民の反感を招きたるに止まるご斷じ轉じて尼港問題に關して其の責任の所在を問ひ之等の事件に就ては何人も一人こして責任を負ふ者なく却つて昇級叙爵に浴するは何事ぞやご云ひ更に田中陸相の臣節問題を論じ其の責任は田中陸相のみに止らず內閣の連帶責任なり然れども其の故を以て陸相の責任を輕減はせず陸相は特別議會に於て陛下に辭表を捧呈したる後閣下により之を撤回したるは憲政の常道に合するものや

田中陸相 西伯利の赤化を恐れたるは出兵の重なる理由なり臣節問題に關し貴族院ご衆議院ごに於て異りたる答辯をなしたる事なし宸襟を惱し奉りたるは恐懼の至りに堪へざる所なるも陛下の御思召なれば水火ご雖も辭せず留任せよごの御思召ならば留任するは誠に臣ごしての義務なり

すこは何事ぞ議員にこりて必要ありご認めながら求めずごて國民の爲め何故に充さざるご詰り彌次を飛ばし轉じて普通選擧に移り同問題は極めて重大なる歷史を有するものなりご始めは政府政友會の二ツを惡觀させ憲政國民兩黨の拍手歡迎を受けたるが議論進むや憲政會側を離請するが如く同問題に對する歷史を述べ憲政會側より本論に入れご彌次られ與議長より『質問は政府に對し爲すべし』ご注意さる、所あり南氏是より政府に質すご誠らず口を叩き議場漸く靜肅を缺く政府は普通選擧は尙早なりご說くも早い晚いは比較の問題なり諸外國ご比較するに猶未だ普通選擧を實行せざるは土耳古、阿弗利、支那、日本の四國あるのみ是れに對し尙早ご云ふか政府の所見如何ご詰り尙進んで國費に關する不權衡を論じ次いで思想問題に入り政友會は井上哲次郎博士の意見を聽けるか同博士は舊思想を代表したる高天ヶ原學者だるは人の知る所なりご論じ再び與議長より注意されしも國民思想の動搖を說き降壇す

原首相（登壇） 御質問は多岐に亘り要點を摑むに苦しむも要するに普選にして實施せられざるは何故なるかこの御意見の如し此事ならば既に屢々言明する所なり直接間接稅に差別待遇をなすは不都合なりご言はるゝも間接稅の納入者にも選擧權を與へよご云はるゝならば老人にも小兒にも選擧權を與へざる可らず

中橋文相次で登壇し昇格問題に就て辯じ

中橋文相 唯今下岡君の朗讀したるものは某學校當局者より出でたる報告書ならんが右は多少相違の點あり自分が言明したる事なき事を言明したるが如く記載しあり殊に前高工、神戶高商ごの約束云々は全然なしたる事なしご否認するや『噓を云ふ樣な大臣は止めて株屋になれ』ご野次るものあり政友會之に應酬し議場漸く色めく此間に於て國民黨

湯淺凡平氏（登壇） 文相は唯今昇格の約束を否認せり然るに學校當局及學生は一齊に約束を信じ騷ぎ居れり若し文相の言明にして噓ならざれば學校當局及學生は文相の言明せざる事を言明したりご云つて世間を騷がしたるものにして其の罪輕からず斯かる大問題に對する文相の失言は遺憾なり文相の唯今の言を聞きたる學校當局及學生は明日は大騷ぎをなすべしご述べ次で朝鮮問題に關し

我が朝鮮統治は何等の治蹟を擧げ居らず文化政策も何等實質なきに非ずや治蹟の擧らざるは常然なり少くごも其の意思ある事だけでも知らしめざるべからず之には彼等の希望する自治を許すに如かず

ごて頑民非懲の根據交通機關の整理朝鮮國防に關し質問する所ありご之に對し原首相及び田中陸相より別項の通り答辯あり岩崎〔illegible〕の動議にて質問を明日に〔illegible〕し五時十二分閉會す（東京電話）

間島問題の答辯

內田外相の應酬

廿五日の貴族院（前號續き）

藤村義朗男の質問に對し先づ

內田外相（登壇） 昨年七月北京政變の際に於て徐樹錚外の政治犯人保護に就ては小幡公使は極め保護するの意見を有したる事なし且つ支那政治犯を保護したる事は今回に留らず

ごて黎元洪氏保護以來の事例を々例擧し

支那側は徐氏等を政治犯に非ずご主張するも政治犯なる事は明白なり依つて支那側の引渡し要求は之を拒絶したるものなり又徐樹錚の脫出に關しては我は逃亡の責任を負ふ能はず次に琿春事件に際し水町大佐の聲明は穩かならずご認め陸軍省に聞き合せるに陸軍當局は斯かる訓令を發したる事なしご答へ來れり但し水町大佐の聲明なるものは唯今藤村君の朗讀したる文書の如きものには非ず元來間島には三十萬の鮮人あり鮮人は我が國民なれども此內には不逞鮮人も混り排日宣傳運動に力め居るものあるを以て政府は支那政府に對し取締を要求せり然るに不幸にして昨年十月我が琿春領事館は燒かれ在留邦人は殺傷せられたるは遺憾なる事件なるも此の下手人は全く馬賊なる事判明し之を剿討するため軍隊を派遣するに至れるものなり然れども本月七日に至り二個大隊を殘して引揚をしたるが今後斯かる事起らざるを認めたる場合に於ては直ちに全部の引揚をなす筈なり

ご明白に答辯し尙ほ日支國境問題に就て辯ずるごて

田中陸相（登壇） 徐樹錚事件に關しては我が衞隊に於ても嚴重に取扱ふ樣戒めたり之に違反したる行動なし從つて右脫走は我に責任なし

ご詳細答辯し對支外交に就て軍閥的外交の嫌ありごの非難に對する答辯は內田外相の答辯せる所ご同樣にして支那軍人は多くは我が政治的若くは軍事的教育を受け特に青木中將の如きは大總統の親友なるも併も其の交際は決して外交的方面に及ぶの事なしご述べ西伯利軍司令官の聲明書を朗讀し西伯利問題を說き二重外交の質問に對し辯解頗る力む

茲に於て更に再び

藤村男（登壇） 陸相の辯明は諒解せるも決して諒とせず外相の答辯に至りては屢々承る所を繰り返へされたるにすぎず政府の外交方針は軍閥外交のアトなしご云ふは結局議論にすぎざれば質問は之にて止むべし其他諒辯し難き事多々あるも時間を有せざるを以て之にて打ち切るべし

ごて降壇し德川議長は議場に諮りて本日はこれにて閉會すご宣す時に午後零時十分なり（東京電話）

豫算委員會

總會は二月十日と決定

下院豫算委員會第一日は二十六日午前十時三十分より開會し豫算審查期間を二月一日迄に總會を了り同二日より七日迄分科會を開會ごし八日を以て各派の討議を決定し九日に分科の査定をなし十日豫算總會を開く事に決定し質問に入り先づ憲政會の濱口雄幸氏より質問を開始す同氏は西伯利派兵の目的を問ひ其の撤退に關して質す所あり田中陸相

監察官設置確定

廿六日閣議の結果

二十六日閣議にて朝鮮に監察官五名を設置するの件確定せり（東京發至急電報）

官場異動豫想

總督府官制の改正は愈二十五日附を以て發布の筈なるが官制の改正に伴ふ監察官、事務官、理事官等の任命こ之に關聯する道知事以下職員の異動發表、人選其の他の關係上一兩日遲延すべきも月末迄には全部の任命を了する都合にして昨今官場にては殆ご職員異動の話題を以て持切り區々の下馬評を試みつゝあるが

監察官 二名中勅任監察官の任命に就ては亥角全南、尾平北、時實忠南道知事を擬し種々の臆測を下しつゝありしも聽聞する所によれば既に忠南知事時實秋穗氏に決定し早くも之に關する內命せられ居る由にて時實氏の本府に伴ふ道知事の異動は其範圍を限局して他道に及ぼさざる方針の下に水野政務總監の直系を內地某縣內務部長より拉し來ることに決定し居れりご云ふ尤も一說には和田鐵道部長の道知事榮轉を傳へ和田氏の後任には弓削學務課長の陞進を擬しつゝある者あるも記者の探聞する所にては和田氏は來る四月を以て新設せらるべき專賣局に局長ごして就任するに內定し居りて氏の經歷が財務局系ごの淺からざる關係あるより推し當らずご雖も遠からざるを肯定し得べし次に奏任監察官一員

總督府內 より物色せられし如く南三日前歐米視察より歸朝し目下鄕里岡山に滯在しつゝある事務官澤田豐丈氏が無任處なるご洋行當時內務部第二課長たりし大塚內務局長が勅任參事官を經て現任地に在る關係上當時の第一課長たりし同氏を平事務官ごし此儘內務局に据置くべきに非ざるを理由ごし氏を之に擬するものあるも一說には京畿道第三部長千葉了氏の任命を見るべしご傳ふる者もあり兼任警察官は當分三名ごし內務局第一課長及び〔illegible〕庶務局以外より人選せられたりご云ふ新設

道理事官 內鮮人二十六名の特別任用は別に本府より拔擢することをなさず各道現在職員中朝鮮の事情に精通する者を任命する都合にして昨今吉松〔illegible〕

之に答へ兩氏の間に數時間に亘り押問答あり（東京發至急電報）

朝鮮農事

請願提出

李完用侯、朴泳孝侯、宋秉畯伯、尹致昊、李達用、韓相龍、趙鎭泰、白完爀の諸氏は朝鮮十三道に於ける有力所八名ご連署し朝鮮農事改良會計補助金に關する請願書を代議士波多野承五郎、二宮房次郎、酒井藤吉、高見之通、山崎猛五氏の紹介にて廿二日衆議院に提出したり（東京電報）

植民省設置案

押川方義氏提出

無所屬代議士押川方義氏は左記建議案を衆議院に提出せり（東京發電）

一、植民省設置に干する建議案

借家借地法案

政府提出

政府は曩に發表せる借地法案（全文十一條）借家法案（全文十七條）を議會に提出せり（東京發電）

最高會議

愈巴里に開會

（巴里二十四日發電）聯合國最高會議は外務省に開會せらるフォッシュ元帥は開會に先き立ちウヰルソン元帥ご打合せるが之獨逸軍備縮小問題を審議する爲めならん

◎（巴里二十四日發電）最高會議第一日は英國が獨逸の軍備撤退の最後の決定を獨に課する前に一應獨委員ご協議するを可なりごし佛首相ブリアン氏之に反對し其他の委員は兩者の妥協を提議し即決政策を主張するご共に軍備撤退の實行法に就きては獨委員に意見を陳述せしむべきを說けるもの、如し而して一般に條件の最後の提案は結局採用せられたるに相違あるまじご推せらる明日の議事中には墺國の經濟的改造あり之に就き佛國は既に一種の法策を立案せるが此法案に就て佛國に都合好き協定が得らるべしご當地にて十分の期待を繫ぎ居れり

土國財政援助

聯合國から

（君府二十四日發電）聯合國は土耳古の財政を速かに救濟する爲め土耳古がオットマン銀行に委託せる二十五萬磅の差押へを解除し且金額は公債管理局に交附し更に目下國立倉庫に保管中の商品の買却に對し公債管理局より大藏省に百二十萬磅の前渡しを爲す筈なるが其の財政狀態は今尙ほ危險なり過去三ヶ月に於ける行政吏員への俸給未拂及び其の他各種の負債總額は五百萬磅に達せり

露國彈藥供給

土耳軍へ

（倫敦二十四日發電）アナトリアに於ける土耳古國權黨軍の兵力は五萬の概算なり彈藥はエスキシェフル工場（小亞細亞）より獲得したるが其一部は露國より供給せられたるものなり

舊國旗復活案

獨逸議會に提出

（伯林二十五日發電）獨逸の人民黨は革命以後生ぜる黑赤金色の國旗を廢し黑、白、赤の舊國旗の復活決議案を議會に提出せるがあり

回教徒の恐怖

（バクタット二十二日發電）メソポタミヤの回教徒は從來反英國なりしが今回英國に對する赤化の勢威に驚き漸々反過激派ごなりつゝあり

波斯內閣辭職

（テヘラン二十四日發電）ペルシャ王は確實に總理大臣の辭職を聽許せり

上半貿易

千二百萬圓

一月上半月朝鮮貿易は輸移出七百七十三萬二千二百二十一圓輸移入四百四十九萬一千六百三十五圓合計一千二百二十二萬三千八百五十六圓にして前年同期に比較すれば輸移出に於て三十萬八千〔illegible〕圓を增加せるも輸移入に於て三百九十二萬五千七百〔illegible〕圓を減少し結局合計に於て三百六十二萬四千六百四十一圓を減少せり而して出入の權衡は三百二十四萬五百八十六圓の出超を示せり金銀の出入は本年に入りて好況にして輸移出九十八萬一千二十八圓輸移入二十七萬二千四百六十六圓にして前年同期に比し輸移出に於て九十四萬八千九百一圓輸移入は前年同期皆無にして二十七萬四百六十六圓を增加せり

佛國の『朝鮮』（四）

アルゼリヤの概況

總督府技師　稅田谷五郎

三 同化政策（下）

（三） 佛國移民可成多數アルゼリアに送らむ爲政府は土地の無償拂下其他各種の設備を整へて大に之れを獎勵して居るけれども、其効果は著しからず、アルゼリア占領後約百年を經過した今日に於けるアルゼリア佛人の人數は五十萬人に足らず殊に土地無償拂下の如きは惡質の移民を招致し或は政治方面に之れを利用せらる、傾きありて、種々の弊害を伴ふを以て今日に於ては無償拂下者に對しては種々の條件を附して居る

（四） 佛國ミアルゼリア間の統一關稅制度の實施は明かに成功にしてアルゼリアの發展を阻害することなく而も經濟的同化の實を擧げて居る、元來母國ミ殖民地間の統一關稅なるものは如何なる場合に於ても成效するご限つた者ではない、其殖民地產出品の大部分が統一關稅に依り無稅で母國に輸入せらる地理的及經濟的位置にあるものに限り成功するものである之れに反し其產品の大部分が外國に輸出せらる位置にある殖民地は統一關稅に依り高價なる輸入品の使用を餘儀なくされるのみにて殖民地產品中關稅に依り市價の高價を保證せられたる母國市場に無稅にて輸入するものは其の一部に過ぎざるのであるから、斯の如き殖民地に對して統一關稅は其の經濟上の發展を阻害する傾向がある之れ統一關稅を施行せる佛國の東洋殖民地に及ぼす一理由である、アルゼリアは佛國に近く對佛貿易は全貿易の大部を占めて居る、故に統一關稅の爲め比較的高價なる輸入品を使するけれども亦關稅の保護に依り市價の高價を維持せらる、母國市場に無稅にて其生產品を輸入する特典があるアルゼリアと相似たる朝鮮に於ても統一關稅の施行は有利なる結果を齎すこ、思はれる

（五） 教育上の同化手段ごして土人及佛人の混合教育制度は初等教育及中等教育を通じて實施せられて居るけれども、人種的偏見ミ土人の教育に冷淡なるごの爲め著しく効果を收むるご能はず只少數の土人が中學校に出席するに止まる有樣である

（六） アルゼリア土人は一般に佛國市民權を有せざるも法律にて定めたる規定に服從するものは佛國市民たることが出來る、從つて選擧權等を有するけれども此利益を享有するものは甚だ少くして、土人で佛國市民たるものは一ヶ年に平均三〇名內外に過ぎぬ

十年の地方廳豫算

大した膨脹はあるまい

編成上の一新機軸

來年度朝鮮地方廳豫算は目下各道に於て編成中にして總督府に於ても尙多少の時日を要すべし來年度之等地方廳豫算は前年度に比し

幾分の增加 を見る可きは動かす可からざるも八年度經額七百五十萬圓より九年度一躍一千四百萬圓の十割の增加を示したる如き比例ごはならざる可し各道を通じて歲入の重なる點は八年度に於て廢止したる漁業稅を地方費の所管に移したるご從來の地方費の財源は

一定の制限 ありて此の制限を越えて稅の賦課を爲す事を得ざりしを以て各道共其狀況の異るありて豫算編成に非常なる苦心を要する處ありしが今回此の制限を撤廢され來年度豫算よりは各道其狀況に應じ特別稅を興し所定計畫に付き躊躇なく之を遂行せしむべき事こなれるを以て編成に

一新機軸 を出すべく豫測されつゝあり九年度の豫算膨脹の原因は主ごして俸給令の改正に依る給與增加の結果にして一般地方費稅の賦課率を高めたるが來年度は賦課率の增率動く大なる全般的を通じて增加は見ざるもの、如し地方官々制改正は總て國費支辨に依るものなれば來年度地方費豫算には何等の影響なきものなりご

失業調査

增加の模樣

京城府廳にては曩に第一回失業者調査を發表せるが最近第二回調査を開始し目下調査續行中なるが失業者數は增加の傾向にて第一回の千一百人に對し第二回は千四百人位に上るべき見込なりご

各將軍招待

總督の晩餐會

齋藤總督は二十九日午後六時より間島出兵問題にて盡力せる高島第十九師團長、東少將並吉林將軍顧問齋藤大佐を主賓ごし大庭軍司令官、淨法寺第二十師團長、前田憲兵司令官、大野軍參謀長及び奥田旅團長等外十四名を官邸に招待し晚餐會を催すべしご

眞の朝鮮事情を

內地に紹介したい

ご俵前長官語る

廿五日朝連絡船高麗丸で釜山に上陸した前北海道長官俵孫一氏は停車場ホテルに少憩した後市內在住の近親知友を訪ひ夕景ホテルに歸つた氏は語る

日韓併合後間もなく大正元年春朝鮮を去つて三重、宮城兩縣の知事ごして歷任し大正四年夏北海道に赴任した、北海道には足掛け五年居たが時の內閣更迭ご共に閑職につき今回

十年振り で思出多き朝鮮の玄關口……釜山に上陸して見るご月日に關守なし確かに事々物々餘程進步しだやうで十年前の事を考へるご實に隔世の感がある、が其半面に於て之は恰も衆議院の近傍に近頃多く見受ける豫想外の建物のやうなものではないかごも思はれる表面は如何にも大廈高樓のやうに見ゐるが其の厚味のない吹けば飛ぶやうな體躯べらなものでないかご其處はソし永年

朝鮮の飯 を食つた丈けに危まれるのである、それは僭越乍ら今回の渡鮮の用向ご云ふのは久方振に京城の舊知ミ會して其後の朝鮮の事情なども聞き約一ヶ月の日程內に元山、群山、木浦ご馳け廻つて地方の實狀を視察した上內地の人々に眞の朝鮮事情を傳へたい爲である、尙ほ暇があれば朝鮮から滿洲を見、青島を廻つて歸りたいご思つて居る、朝鮮の

教育令の改正について は私獨得の意見もある之は何れ齋藤總督や水野政務總監に會つた上卑見を開陳する心算である（釜山）

杉浦御用係辭職

某重大問題に關し宮相ご意見衝突の結果

東宮御學問所御用掛杉浦重剛氏は昨年來病氣ご稱し引籠り中なりしが今回辭表を提出せり其の間種々複雜せる事情あり又復せる重大問題に付き中村宮相ご意見衝突せる爲なりご傳へらる（東京發電）

森林令規則改正

森林令施行規則中改正の件は二十七日總督府令を以て公布四月一日より施行の事ごなれるが第二十條第二項中『前項の』を削除し契約保證金は國債を以て之に代用すごの一項を加へたるものなり

工藤知事出迎

工藤京畿道知事は李王世子殿下御出迎への爲め二十六日鳥致院驛迄進きたり

警務局長出迎

赤池總督府警務局長は今回李王世子御歸鮮に就き總督府職員を代表して御出迎ひの爲め二十五日夜行列車にて釜山に向へり

辭令（一月二十五日附）

總督府政務總監　水野錬太郎
臨時朝鮮救濟委員會委員長を免ず
總督府殖產局長　西村保吉
臨時朝鮮救濟委員會副委員長を免ず
總督府警務局長　赤池濃
同　內務局長　大塚常三郎
同　庶務部長　青木戒三
同　財務局長　河內山樂三
同　鐵道部長　和田一郎
臨時朝鮮救濟委員會委員を免ず
總督府中樞院議長　侯爵　李完用
同顧問　男爵　閔泳綺
〔illegible〕

酒母麴製造高

京畿道內八年時の麴製造高を聞くに免許人員八百八十名造石數四千三十九石〔illegible〕八斗九合五勺講免許人員三名造石數〔illegible〕無麴免許人員十一名造石數百三十八石六斗なりご

巡查採用試驗

京畿道に於ては廿六七日兩日に亘り京城府廳內警察官講習所及び水原開城抱川三警察署に於て鮮人巡查採用試驗を行へるが其の志願受驗鮮人は京城に於て二百八十名合計四百五六十名に達せるが此の內採用さるゝ者は込數六七十名に過ぎざるべしご

◎郵便所長の更迭 江原道襄陽郵便所長今田悅之助氏は曩に死亡せられたる爲め當日駒木米吉氏後任に任命せられたり又全北泰仁郵便所長長谷部〔illegible〕氏は一月二十四日附依願本官を免ぜられ森山亮衞門氏同日附後任所長に任命さる

日比谷の政戰を見ながら（二）

在京一記者

直に踵を返して今度は內幸町〔illegible〕明からテクつて野黨の根據を襲ふ、此處も今や混雜の最中で六七人の受付子は石川縣の……さん、大分縣の……さんご呼び上げては〔illegible〕の名札を〔illegible〕

〔illegible〕して左方の窓際にブラ下る、から築地精養軒にて總裁閣下の慰勞會招待狀を差上げる、和服の思ひ〳〵の服裝をなした六百近い大衆は彼處にウヨ〳〵此處にもウヨ〳〵

二階の總務室では四い卓子を中央に圍んで河野美野公、〔illegible〕秀顯氏、眼鏡掛けの龍嘯文學士、それから赤キット靴で鳴るメカシ込んだ問題の人野堂居士等が何事か話しては笑ひ崩れる。これでは除名も脫黨も問題にならない雨降つて地固つた格……總裁が見ゐる……振鈴が鳴る……堂を震撼する拍手に迎へられて『無能無經綸なる現內閣は日に夜に黨利黨略の擴張のみに熱中する』云々ご說き出して『此際我黨は大に責任を自覺して勇進活躍』云々ご小泉幹事長は盛にメートルを上げる、續いて前逓相が座長に推されて此日の日程は滿場一致〳〵で順序よく運ばれる

總て今度ご云ふ今度は白頭宰相を向ふに廻して上院の演壇に咄々しき一騎打をなすべく決心の臍を固めた笛の五ツ紋の大島紬にカッシリした巨軀を包み苦甜を嚙んだ樣な六ヶ敷顏の主人公が演壇に足を運ぶ、萬雷の如き拍手が湧んだ頃は千有餘の壯士が〔illegible〕場上の人を一齊射擊して鳴り〔illegible〕眼鏡越しに滿場を一睨し〔illegible〕の三十枚もあるかご思はれる〔illegible〕い草稿が卓上に擴がる、而して〔illegible〕なロを開く……知らず彼の口は抑も如何なる經綸抱負を吐き出すであらうか（二十一日朝）

人事消息

▲三上豊三郎氏（總督府中央試驗所長）二十四日附關東州及支那へ出張を命ぜらる
▲中川虎太郎氏（總督府技師）同上
▲吉城增藏氏（實業銀行頭取）東洋生命保險會社重役會並經濟狀況視察の爲め往復三週間の豫定を以て二十六日夜東上
▲加古山木助氏（龍雄土）〔illegible〕東上中の處廿四日夜歸城
▲足立丈次郎氏（戶田農具會社長）二十六日朝平壤へ
▲戶田常衞氏（戶田農具會社支配人）同上
▲鹽川芳吉氏（京城實業團長）家病氣の爲め引籠り中

寸碧

▲田中陸相が議會で湯淺代議士の質問に對して『國境防備の爲め內地軍隊を朝鮮に增遣する心算だ』ご云つて居るのは大に賴母しい▲つまり之は內地師團移管の前提ではあるまいか▲原首相は同じく湯淺代議士の質問に對して『適當の時期には日鮮人無差別の實現を期する』ご聲明して居る▲適當の時期ごは果して何時か之は一に鮮人の自覺に俟たねばならぬ、言ひ換ふれば鮮人の自覺が早ければ早い丈け其時期が早くなるのだ▲鮮人たるもの當局の意のある處を察して〔illegible〕

政友代議士會

質問繼續申合

〔illegible〕の說明に對する質疑演說は二十四日終了せざる場合は尙日程を延期することに決し〔illegible〕午後四時半散會せり（東京電話）

〔illegible〕たる時は幹部に一任〔illegible〕奉天支各方面を訪問轉任の挨拶をなし午後八時五十分發列車にて〔illegible〕

政府は左記法律案を衆議院に提出せり（東京發電）〔illegible〕

詐僞漢の流連

仁川署に逮捕

〔illegible〕十五日分前金五百圓を懷中し〔illegible〕の如く裝て手配中の者たりし〔illegible〕信用貸出最多額を占め〔illegible〕の約半數たる三千萬圓大は不動產〔illegible〕

〔illegible〕路組太郎、石崎市吉、尚錦子〔illegible〕一等（八十二名）二等（三百廿三名）〔illegible〕

氣壓は西伯利及滿洲北部に著しく上昇してその示度七七五粍をへそれより次第に日本海方面に南下して半島を掩ふべく明日に至らば前記高氣壓は次第に〔illegible〕なるべし

地方時言

全北地方費豫算

全北地方費豫算は二月上旬迄には全部決定を見地方課にて取纏め一應總督府と打合せ斯くして二月中旬開會の道評議員會に諮問する歳出入共約一百萬圓であるが歳出の頗る膨脹したるに比し歳入に於て何等の財源を得ず約二十萬圓の不足を生ずる見込で之が財源は差當り戶別稅の增徵によるの外途なかる可く但し之れとて現在一戶平均一圓十錢を徵し居るものを制限額たる一圓五十錢に增額するとしても八萬圓の財源を得るに過ぎず尙ほ十二三萬圓の不足は免れぬと云ふが此の財源に就ては目下鋭意講究中である(全州)

地方持米放賣

昨年十月から同十二月に至る全羅南道の檢查米總數は七萬七千七百四十一叺にして之を前年同期の五萬八千七百十四叺に比すれば二萬餘叺の增加を來して居る更に之を木浦檢查所のみに就て見るも九年十月より同十二月末迄の檢查數は三萬千八百八十三叺にして前年は二萬四千四百〇九叺に過ぎない本年は米價慘落の爲め農民が賣惜んで居るとの風評があるが全南は却つてこと反對の現象を呈しつゝあるは注目に値する節であるまた一面、地方農民の懷合を最も正直に語つてるものではあるまいか(木浦)

鎭南浦の電燈

鎭南浦の電燈が微力に乏しく明滅常なきは久しき間の問題にして特に最近は最も甚だしい。吾人は專門家でないから其の由て來る原因を的確に洞察することは出來ないが現在の會社の動力より考へて左の理由を提示せんとする

一、燃料の撰擇に重きを置かざること
二、燃料燃燒力より及ぼせる機械延轉の不同
三、供給其限度を超過せるにあらざるか
四、機械の操縱に遺憾なきか
五、送電に對する取締の緩慢なること

すでに平壤電興會社との間に送電の契約成立し近く實現せんとする今日吾人は多く謂ふを欲せざるも市民の利益のために當事者が一層努力を拂はれんことを切望する(鎭南浦)

發字號の整理問題　滿洲財界に波及する所奈何

(安東縣)滿鮮染料工業株式會社長寺尾德郞氏は二十五日午前五時五十分着列車にて安東縣に來りたるが昔日最近の財界狀態に就き左の如く語れり

今回特に破綻せんとしたる發字號は滿洲全體に亘り其の支店又は取引所とも云ふべきものは二百餘軒あり然れども事實は發字號は長兄次兄末弟の三人が經營するものにして自ら三派に分れ居るものと見るを得べし今回破綻せんとしたるは末弟たりし先主人未亡人の子息の經營する處にして其の關係上滿洲全部の發字號に累を及ぼすものとは信ぜられず。この未亡人は絕倫の精力家にて目下直隸省の某地に居住し居るものにて其住宅の如きは殆ど王族を凌ぐ程の宏壯なるものにて常に男妾十餘名を蓄へ居り財界三方の雄にして財界に於ては張作霖以上の勢力を有する程なり今般の失敗の原因は過度の貸し出しが買收困難に陷りたる爲に非ずして銀爐鋪が他の副業に手を擴げ其失敗の結果今回の不祥事を曝露したる者と云ふを至當とすべし昨年中鮮銀支店は發字號整理資金として金川五萬圓を救濟したるを以て目下着々整理中にあり上述の如く同號の缺損は三兄弟各系統を有するを以て一說には二千萬圓に達するならんとの風說あるも事實三百五十萬圓內外ならんかと思惟す云々

各里總代を通じて　鮮人に府政の宣傳　吉松仁川府尹の懇話會

二十四日午後一時吉松仁川府尹は各洞總代十五名及び新聞記者其他を府廳樓上に招き地方制度改正の結果に於る府政の運用に就き談話を試みたり

今日總代諸氏の御出席を願ひ一堂に會して親しく談話を試むる事が出來るのは之れ私が平日の希望を達し得たので非常に嬉しく思ふ次第であります既に充分御承知の如くで如何に鮮人諸氏の府協議員へ民選學校評議員の選擧權ある事等に於ても之が察知する事が出來るのであつて之が鮮人諸氏の選擧權をも認むるに至る過程であるとも謂ひ得るのであります嬉しく思ふは、從來諸氏が協力に依つて思想動搖の際に於て幸ひに惡感化を受くる事もなく寧ろ善良なる性格を保ち得たのは實に健全なる諸氏の一般鮮人に對する指導斡旋の賜と深く感謝して居る次第であります將來內鮮共同の福利を增進するに就て我々の眞情を一般に傳へ和衷共同の實を擧ぐるに努力すべきものは今日お集り願つた諸君で一層の御盡力に俟たねばならぬので有ますが殊に來年度より計畫されて居る鮮人教育事業の設備等に就ては一層の努力を希望してやまぬのであります

府尹の此の意味の談話に對し李容求氏は一同を代表して

鮮人に對して深き同情ある府尹の言葉を拜聽し私共は感激に堪へない次第であります微力ながら唯誠實を以て一層の努力が續けたい考へで居ります云々

と感謝の挨拶を述べ終つて府尹は一同を中華樓に招待し隔意なき意見の交換を希望する所あり李容求氏の發聲にて府尹の健康を祝し和氣靄々裡に午後五時散會せり(仁川)

公設市場の賣上高　十三萬六千五百餘圓

(平壤)同地の公設市場が開設以來三ヶ所を通じて開設以來されだけの仕事をしてゐるか、されだけ市民に利得を與へたか統計に現れた數字によつて見ると、左の樣な數を示めしてゐる。

壽町市場は 大正九年七月からの開場で同年末迄の賣上高は六萬八千九百九十四圓であるが購入者の人員を調べて見ると十四萬九千二百五十一人を算してゐる更に第二に開場された倉田里市場は同年八月より年末迄五萬二千九百九十二圓を算し購入者人員十五萬六千六十九人である

幸町市場で 之は同年十一月の開設で年末迄の賣上高一萬五千四百四十三圓、購入者人員二萬九千二百四十九人に達した。

以上三ヶ所 の賣上高を合算すると實に十三萬六千五百二十九圓に達し購入者人員三十三萬四千五百六十九人を算してゐる、各公設市場に於ける賣品は穀類は

勿論のこと 一般食料品並に日常品其の他裝身具から古器物に至るまで殆ど總ての品々を網羅し其所在の位置により夫れ〴〵向き〳〵があるから多少商品の種類を異にしてゐる

之等の物品 を概觀して、何が一等賣行高が多いかと云へば、第一に洋物雜貨穀類並に生魚と云つた樣に漸次額は減少してゐるがそれ〴〵

可成な賣上 高を示してゐる、此點から押して府が此市場を經營するに至り一般市民が享受するところの利益は實に公設市場直接に供給を受ずとも市內商店の

小賣値段が 之に伴ふて下落したとすれば莫大なものがなければならぬのである

平北道廳の移轉　岩井技師新義州の敷地を踏査

平北道廳は愈新義州に移轉する事に決し敷地は大和町高臺を以て之れに充つる事となり居れる由にて總督府技師岩井長三郎氏實地踏査の爲め來月上旬來新すべしといふ尙本年解氷を待つて基礎工事に着手する豫定にて本年度の工費は十五萬圓なりと(新義州)

經濟研究會

(安東縣)安東商業會議所の提唱にかゝる昨年十二月中安東臨時經濟研究會なるものを組織したるが有力者に委員を囑託して押し詰まつてから其の發會式を擧行したが議論百出して一向纏まりがつかず之を諮問機關にするのか補助機關にするのかと云ふ樣な批難もあつたが遂に又一度練り直して一月の二十日頃第一回の總會を開く事に決定して有耶無耶の間に散會したもの、一月になつても無期延期で今に何の沙汰もない結局この儘流產するのであらう

船橋里發展期成會生る　市場、小學校、渡船場の諸問題

平壤府の對岸船橋里は日清戰役の古戰場として一個の記念碑を建られ僅に東拓移民の耕作場たりしに過ぎなかつたが此處二三年前より平壤製糖所の擴張並に興製糖二大工場建設近くは朝鮮航空隊の新設等に依りて既に平壤都市建設計畫に屬し居れるが諸事業の爲最近人口戶數俄に增加し居住內地人の數一千以上鮮人の數三千を算し日々發展の機運に向ひたれば今回問題の如き會を組織し左記事業の目的を遂行せんとて平壤府及び平壤學校組合に對し諸願書を提出し運動を開始せり

一、船橋里に尋常小學校建設の件
船橋里と云へども東大院里新里を含み現に內地人戶數三百人口一千鮮人戶數一千人口三千を有し平壤尋常小學校に通學する學齡兒童數百名本年新に入學すべき兒童八十五名計百八十五名あり然して通學兒童は大同江渡涉の關係上通學の不便及危險等なれば大正十年四月までには是非學校設立の必要ありと云ふにあり

二、船橋里渡船場の設備
危險豫防の爲め大同江の兩岸渡船場に贊成を爲すこと從來の渡船營業時間を延長し夜間十時後と雖も出船せしむること、潮の干滿に際し渡船場の安全を計る爲め氷塊を取除け兩岸に板橋を設くること船橋里住民に對し特に渡船賃金を年定めとすること

三、船橋里市場開設の件

楓葉染料商談

(安東縣)滿鮮染料工業株式會社長寺尾德郞氏は二十五日朝着列車にて安東に來り目下安東縣支店內に滯在中なるが楓葉エキス染料の販路に就き語つて曰く目下京口落市街在住の美隆洋行主人米國人フワンバツク氏は米國及び獨逸兩國の理學博士なるが幾に本社の製品楓葉エキス染料を種々の方面より試驗の結果フヰツシング(漁網)の染料として有効なりとなし昨年中見本として二千瓩を紐育に送りたるが試

大連　埠頭擴張工事　臭水子海岸埋立工事も開始

(大連)埠頭の擴張工事は目下着々進行しつゝあるが第三埠頭より第五埠頭に至る大擴張計畫は十年度豫算確定と共に續行せられ小崗子より臭水子一帶海岸の埋立工事も續いて開始するに至り辻村技師(主計係)等發企の滿洲埋立工事又其の頃より始めらるゝと(大連)

仁川普通學校　新築計畫　二年計畫で七萬圓

仁川公立普通學校は現在五百の生徒を收容せるが年々增加する入學兒童に對しては既に收容の餘地なきに至り數年來之が擴張の急を唱へられたるも經費の都合上實行の運びに至らず今日に及びたるが大正十、十一の兩年度に亘り愈校舍增設の計畫を立て實行準備中なり現在十一學級十一教室を有する同校は本年四月より三學級を增加し四教室の增設を急がざる可らざるを以て此に第一步大正十年度には五間に四間の煉瓦建一棟を現校舍の西側に新設する事となり約四萬五千圓を豫定し更に大正十一年度に於ては五間に此四間の木造校舍を新設し之れに二萬五千圓を要し總經費約七萬圓を計上すべしと云ふ此の計畫にして實施せば學級十八を編成し二十二の教室を得て一千餘名の生徒を收容し得るに至るべし唯最も苦心せるは建築費用の調達にして之等は其の大半を一般鮮人の寄附に俟ち已むを得ざる殘部の所要額は地方費の補助に依るべしとの目論見なれど鮮人の經濟狀態よりして此の多額の寄附調達は頗る困難を感じつゝありと云ふ(仁川)

平壤兩小學校　入學豫習開始

平壤尋常小學校及尋常高等小學校にては中學校入學志願者及び高等女學校入學志願者受驗者の爲め豫習を開始し居れるが本年入學志願者數は中學校七十名女學校七十九名なりと

新義州高普開校

新義州に新設するに決せる高等普通學校は敷地を停車場附近鐵道用地を以て充當する事と爲し本年解氷を待つて工費十萬圓を投じて新築すべく決定せるが其間普通學校の一部を借り受け一二學年生徒百名を募集し四月一日より授業開始すべく之が準備の爲め廿七日總督府學務局屬高橋濱吉氏來新する由(新義州)

商專寒稽古

仁川商業專修學校は來る廿八日より向ふ十日間の豫定を以て小學校雨天體操場に於て柔劍道の寒稽古を開始する事となり毎朝午前六時より一時間火の出る稽古を行ふべしと一般の希望者の參加差支なしと(仁川)

平壤尋常小學校の洋畫展覽會を見て

平壤尋常小學校教員連中より成る洋畫展覽會を見ました卅二疊の大廣間の四方の壁にざつと掲げられた畫の數が五十六點で油繪水彩鉛筆其他の洋畫などを取交ぜて其美しいことは何にたとへやうもありません

肖像畫もあれば風景畫もありますし裸體の美人もあれば花卉果物類もあります先生たちの子供たちのものもあるかと思へば樣々な動物もありますそして其中で素人ばなれして專門家以上のものもあります中にも中垣先生の如きはもう大家の中にも入りたい樣な感じがしました光行先生や大田先生などのも良く出來しゐました私はこれ等諸先生たちの作品を拜見して平壤小學校は藝術官の集りだと云ふことを披露したいのであります只繪ばかりではありません音樂の上手な方もあるのでありますそして又他に誇つて敢て遜色ないと申したいのであります川崎先生のピヤノ小林先生のヴァイオリン中垣先生のマンドリンなど夫々又天才と云ふ外はありますまい

地方人事

▲加藤署長歸任　旅順に於て開催した指紋法の講師として同地に出張して居た加藤晴好安東縣警察署長は二十二日午後歸任した(安東縣)

▲宮舘府尹　群山府尹宮舘貞一氏は學校組合起債其他の要務を帶び二十四日群山出發上京した(群山)

▲入江新局長　南井田群山郵便局長の後任として元大田郵便局長入江俊平氏が二十日着任した(群山)

▲八木慶南三部長　慶南第三部長八木氏は廿五日午前九時半より警務部長及金丸水上署長を隨へ發艀御船玉浦丸にて鎭海製鹽所、移出牛檢疫所、神仙堂檢疫所其他港內を巡視せり(釜山)

地方集會

商議例會　去る二十二日午後三時より安東民團役所樓上に於て安東商業會議所評會一月例會を開きたるが當日の議題は木商組合より提出したる新義州木材商組合が安東縣より朝鮮へ輸入する製材に課稅すべく運動中なりとの風說に對し其の對策を講ずる件に付協議したるも其の風說の根據薄弱なると同時に此の課稅問題は法律の改正を要すべき問題なるを以て愼重研究を要する事件として問題となし散會したり(安東縣)

▲群山商議招宴　群山商業會議所會頭大澤藤十郎氏副會頭赤松繁夫兩氏は二十二日午後六時より料亭花月に會議所議員及在群操觚者多數を招待し盛宴を張つた(群山)

▲安東新報新年會　安東新報社長川邊篤氏は二十三日午後三時より洞市街支那料理店鴨江春に於て新年宴會を催し同社員一同及び來賓として安東新義州間の同業者を招待したるが非常の盛會であつた(安東縣)

▲三重縣人會　安東縣在住三重縣人新年宴會を富多美に於て廿六日午後六時に開會盛會であつた(安東縣)

▲熊本縣人會　安東縣在住の熊本縣人新年宴會を二十七日午後六時より由良之助に開會したが非常に盛會であつたと云ふ(安東縣)

▲鄭內周氏小宴　沃溝郡細以敢良組合長徐丙周氏は二十二日午後六時より群山料亭新川に商業關係者多數を招待し新年宴を開催したが盛況であつた(群山)

▲醫家鄭氏の川柳　全州郡東山面出張所鄭氏は本紙柳壇にて度々選に入り先日も又に入選したる者なるが一日の紀元節をトし五田川にて川柳會を催す筈なるが尙ほ三月に入りて全北及び忠南の同好者を裡里に集め川柳大會を開催すべく又た機關文藝雜誌を刊行する計畫ありと(全州)

▲實業青年會新年宴　平壤實業青年會では二十三日午後一時から武藏野に於て新年宴を兼ね本年第一回總會を開催したが非常の盛會であつた

▲談話會　吉松仁川府尹は改正地方制度に關し一場の談話を試むべく廿四日午後一時鮮人有志數十名を府廳樓上に招き小宴を催すべしと(仁川)

▲圍碁小會　仁川取引所部內に於ける圍碁同好者は廿三日午前より山根町若松組社長宅にて新年圍碁會を催したり最近初段格の鮮人闘將を迎へたる同部內は氣勢一段強く仁川の大關旅智氏も亦出席して新進の闘將との手合せを爲し頗る興味を加へたりと(仁川)

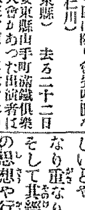
▲仁川俱樂部會　仁川俱樂部會は來る廿八日午後六時新年宴會を兼ね後藤觀測所長、中村判事、造宮川郡守の歡迎會並に有村分監長の送別會を催すべく今回に限り會費四圓を徵收すべしと(仁川)

▲素義會(安東縣)　去る二十二日午後七時から安東縣山手町滿鐵俱樂部で素人義太夫會があつた出演者はさみ子、石川翠玉、原田傳愛、木の南由良之助、佑勝兩氏も出演したが何れも精妙の藝をお聽きに達したので滿場立錐の餘地なき程の大入であつたと云ふ事である

仁川　素人歌留多大會

日時　二月十一日紀元節
場所　東公園　八阪樓
會費　金一圓(晝飯を供す)
申込は京日支局又は漣會(電話七十九番)へ
主催　京城日報仁川支局
後援　仁川漣會

屑屋の籠　限汀生



時代後の教育(三)

前回に述べた京城中學校の水原夜行軍が、其の出發の時期を本月二十二日の午後八時と定めたのは、多分當夜が恰も陰曆十二月十四日に當り、赤穗義士討入の日であるからであらう。同校にては從來毎年此の日に何か斯んな催しがあつたやうに聞いて居る。赤穗義士復讐のことは、久しく來年に拙れて、淫靡驕奢の風盛なりし元祿の世に、青天の霹靂とも謂ふべき快擧であつて、之が爲に天下の士氣を振興させ、德川三百年の歷史を飾つたものであるが、大正の今日、猶之を以て普通教育の資料となし、未來の大國民を訓育するといふことは、時代錯誤の甚だしいものである。余は固より見て、社會狀態より見て、德川五代將軍(綱吉)時代の時勢に於ける彼等の行動を非難するのではない、彼等の忠魂義膽は、永遠に國民の誇りであり教訓でもあるが、その行動は、之を嚴正なる倫理學的見地より批評すれば、十分に議論の餘地がある。兎に角、今日の學校教育に於て、斯る殺伐なる行動を勸獎するが如き遣り方は、現代の少國民には決して適當ではあるまいと思ふ。今後の教育は、亂暴又は粗野なる氣風や、殺伐なる習性を養成してはならぬ。國民としては愛國の心深く、常識に富み、正義の信念なると同時に、人類としては、自由と寛容の精神に富み、世界的共同生活に適すべき紳士を作ることを目的とせねばならぬ。(一月廿一日夜稿)

青年の問題(二)

青年はひとたび其の最終の學校を卒業して、社會の人となれば、今度は人生其のものが學校となり、經驗と境遇とが教師となるのである。是れまで學校より受けた教育が何の位の程度に實際生活に用立つか、漸次に解つて來る。是からは責任が生ずる、艱難が課せられる、葛藤も起れば誘惑も來る。快樂もあれば悲哀もある。得意にもなれば貧乏にもなる。富むともあれば失望もする。健康で居るかと思ふと、病氣にも罹る。嬉しいとや、樣々の生活經驗が重なり重なり合つて湧いて出る。そして其經驗を重ねる毎に、その思想や行動が漸次に變つて來る。眞の人格が養成せらるゝのは、此の時である。苟くも自己の修養に資する機會あらば、その時と所との如何なるを問はず宜しく之を捉へて活用すべきである。

地方色

安東縣で素義をやる人を一寸調べて見ると此の間も……▲藝妓の側では古るい處で東雲のかむめ揃、新らしい處で由之良助の勝助▲太陽樓のメ奴、近頃オツ始めたのが古るいのがは不明だが由良之助の政次、ふみ子の諸君が熱心だと申すが義太夫も大いに宜しい成るべく味噌屋附近に往つて吟らぬやうにして欲しいと並べて居た▲而し一口淨瑠璃みか我が屋の戶口を知らぬものは何とやら申するも御座るによつてマア精々一口位發て居て惡くあるまい

大慘落の　本場銘仙　一反只四圓八十錢

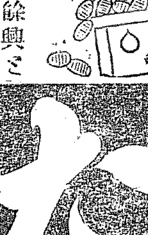
過去十年間吳服類の見切賣を以て評判を取り其勢力隆々たる東京市日本橋區本石町一丁目吳服問屋間谷商店は其營業振りが何時でも現金取引なる丈に世の中が不景氣の今日多々倍々安いものを受合本場銘仙が一反只の七圓五十錢次の品只の四圓八十錢と云ふ噓の樣な掘り出し物を本紙愛讀者に勸む此際是非振つて試す必要あり同意の方は男女別で年齡を記しハガキにて申込ば直に代金引替郵便にて送る由

新春　特別賣出　一月二十七日ヨリ三十一日迄

新春に一大下落せる新相場の新らしき柄新らしき品の初荷が着きましたので本年最初の賣出しとして

元價賣出し

を致します成程と御思召樣な安賣です



賣出し中は餘興として御買上金十圓以上の御方に銅貨を五十圓以上の御方に白銅を片手に握られる丈差上ます

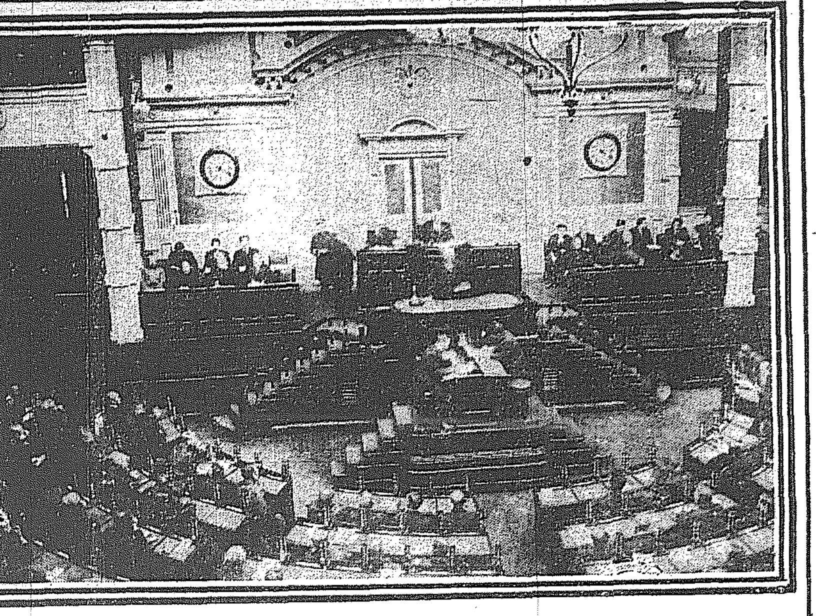
㊂まる三吳服店　京城本町二丁目　電話 一五七　振替 一二六九

足袋王　つちやたび
本社　久留米
支店　大阪　東京

BROCIN
鎭咳袪痰劑　ブロチン
醫學博士吉村嘉作先生の創製品にして、效果佳良、副作用絕無、實驗諸家の好評を得たり。
急性、慢性の呼吸器疾患にして咳嗽、喀痰を伴ふ諸症並に百日咳等に適應す
(實驗報告集御申越次第進呈す)
▼粉末、錠劑、液劑の三種あり、各地有名藥舖にて販賣す
東京室町　三共株式會社　出張所 大阪淡路町　同 臺北府後街

「味噌有リ」
名ヲ日の出味噌ト云フ
△驚ク勿レ壹年間ノ製造高　タツタ五百萬貫▽
……日の出味噌ノ大發展……
△日の出味噌ハ……新式機械を發明し當社自慢の製造法にて他に比類なき逸品なり
△日の出味噌ハ……特に優良なる原料を撰び製造法宜敷きを以て獨特の美味あり
△日の出味噌ハ……風味は最も良く安くして家庭料理に至極德用なり
△日の出味噌ハ……共進會各博覽會に於て優賞を受け頗る賞讚を博せり
△日の出味噌ハ……全鮮到る處の食料品雜貨店にて販賣し賣行頗る旺盛なり
日の出味噌製造元
中央醬油釀造株式會社謹製
京城府林町一九〇番地　電話 一四〇八番

資本金 五千萬圓
積立金 貳千五百萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城府本町二丁目
電話 一八一番、一八五番、六二二番、一七一番　振替貯金 京城 二三二番
頭取 佐々木勇之助
支配人 藤森忠一郎



質問戰に花を咲かす衆議院議場

皇太子殿下 御渡歐の内達

御日取は目下英國へ交渉中

中村宮内大臣は二十二日午後一時濱尾東宮大夫（入江侍從長は參加なし）戸田式部長官、石原宮内次官、山崎内藏頭、吉田調度頭、吉田式部職儀式課長、戸田東宮主事等を大臣官房に召集の上東宮殿下御渡歐の事に御治定相成りし旨内達せり　御出發時期等は目下英國帝室に御交渉の[illegible]あるを以て同國よりの御回答を待ち御裁可を仰ぎて決定し其上にて御旅程其他萬端の御準備に御着手相成る由（東京）

過激派に對抗すべく 小民族の結合

大和民族の同情の下に 近く東京に代表者集合して 大協議會開催

レーニンの死が傳へられ其後繼者と目さるゝトロツキーはレーニン程の人物で無い、過激派の勢力も幾分殺がれるかも知れぬなど種々の觀察が行はれるが兎に角表面だけでは今や過激派の全盛時代である、南露や中央亞細亞方面

小國民族は その勢力に殆ど壓倒されるやうな狀態である、反過激派は飽まで過激派と戰つて露國を混亂から救ひたいこの宿願からスラブ民族を始めタタール、バシキール、ブリヤード等の諸民族を結合して一大勢力を得んと近く東京に各民族代表者の集會を催し大和民族の同情の下に協議を開き互に結合して過激派を叩き潰さうと云ふの計畫がある右に就き

某參謀將校 は語る『それは有り得べき事です過日バシキール民族（西部西伯利から中亞細亞に亘る）の代表者が來京して居つた、又目下來京中のクロポトキン氏も或は夫れに關係するであらうで何しろ夫れ等の小民族も過激派の壓迫から逃れて平和の自治に歸りたいと熱望して居るのであるから喜んで

之に加はる に相違ない、此の結合も勿論反過激派の一運動で至盛の過激派に於ては一顧寧たる未明かである』と（東京）

鋏で腹を突いて自殺未遂

[illegible]町料理屋花屋方座敷六疊の間に於て鋏を以て腹部を突き自殺を圖りたるも死に切れず苦悶し[illegible]の原因住所氏名明かならざるも[illegible]同人の所持せる郵便貯金通帳に[illegible]深さ一寸餘に達せるもの二三箇所ありしも生命に別條なし自殺[illegible]

自殺を企てゝは泥棒

二十四日新義州櫻町料理屋花屋[illegible]て手配中の者なりと（新義州）

[illegible]油鹽崎吉太郎方にて金品を窃取し行方を晦まし居たる者にて自殺せんとしたる原因に付ては多くを語らざるも[illegible]

不老長壽法

原田博士が專心研究

廿三日郵船熊野丸にて獨逸より歸朝せる京都大學教授原田博士の談に曰く『歐洲にては一昨年維納ヌタイナハ氏が發表したる長壽法に關し各地學者の研究動機を惹起し居れるが予は瑞西バーゼン研究所にて胎盤より藥品を研究し既に四五〇號位まで研究せるものの證明を受けたるが尚其一切を貰ひ受くべき事を約したれば送り來りたる上兄弟にて之が研究を續くる筈也』（門司）

圖們江の渡渉危險

所々解氷の爲

當地方此の冬異常の暖かさで圖們江解氷の箇所あり渡渉危險斯る事は何十年來の珍現象であると古老は語つてゐる晴天氣溫は昨今七八度乃至十度（清津特電）

不逞漢駐在所を襲ふ

巡査重傷

平北道鐵山郡警察署管下柏梁面警察官駐在所勤務金巡査は去る二十日非番にて自宅に在りしに同日午後一時頃五名の鮮人來り只今柏梁面双岩洞に數名の不逞鮮人襲來せる故密告すと云ひしを以て同巡査は之れを信じ出張の準備を爲しつゝある隙を窺ひ他の五名は室内に掛けありたる拳銃一挺を奪ひ取り同巡査を射擊し腹部腕部及び股部に各一ケ所の重傷を負はせ姿を晦ましたる右金巡査の負傷は頗る重く生命危篤なりき（新義州）

六發の銃聲 瀧と流る血汐

あはれ金面長の身代りとなる

了波金融組合理事遭難詳報

平安南道成川郡丁波金融組合理事永重英吉氏は不逞鮮人の爲め殺害せられた事は當時報道せしが

當時の情況 を聞くに永重理事は九日朝丁波を立ち成川に向ひ同日成川に投宿し翌十一日は任地丁波の市日なれば歸任せんとして午前九時頃同地面事務所に立寄り面長に案内せられて事務室の入口の機關に對談やがて折柄より書類を出し寄附金滯納者及出資未拂者の調査を爲し記帳しつゝ有しが突然二名の鮮人青年入り來り面長金敬鍾に對し予は彼の村出龍と云ふ者なりとて

一通の書狀 を面長に渡し彼の内地人は何人なりやと問ひたるに面長は丁波の金融組合理事なりと何心なく告げ受取りたる封皮を切り書狀を讀まんとせる刹那青年の持つ小さき自動拳銃より亂射せる六發の丸は永重氏の胸部及腹部顏面に的中し瀧と流るゝ

血を浴びて 絶息せり　然して面長が受取たる書面は即死刑の宣告書にして最初面長を殺すの目的を以て入來りたりしも永重氏の姿を見て内地人を殺すの氣になりたるもの如かりし（平壤）

尼港殉難將卒を靖國神社へ合祀

露國尼港に於て過般無慘なるパルチザンの爲に非業悲慘の戰死を遂げたる故步兵中佐石川正雅氏以下約三百七十名の陸軍將校下士卒軍屬及故海軍中佐石川[illegible]兩氏以下百數十名の海軍軍屬の英靈は近く陸海軍兩大臣より上奏來る四月卅日九段別格官幣社靖國神社例大祭に先だち臨時大祭を執行同社へ合祀せらるゝ筈

にて三月頃には日取を仰せ出さるべく當日は

天皇皇后兩陛下並に皇太子殿下の行幸啓を奏請すべし（東京）

公金を横領

京城府龍山漢江通十三番地西田卯三郎方原籍千葉縣香取郡神社村大久保三百八十一番地大根治三郎（三一）は平北道朔州金融組合理事在職中大正九年八月二日より十月十六日迄の間に於て組合資金中より一千三百圓を數回に横領し其後所在を晦まし居たるが數日前前記の所に潜伏し居るを逮捕せられ爾來新義州法院支廳に於て取調中なりしが十九日公判開廷懲役一年の言ひ渡しありたるが被告は即日控訴せり

官金二十餘萬圓を費消して捕はる

十年の間巧みに檢査官を欺いた關東廳の遞信書記

關東廳遞信局書記小栗德太郎が官金二十二萬圓を費消せし事件あり探聞する處に依ると遼東[illegible]株式會社專務取締役小川民雄氏が過般原因不詳の縊死自殺を遂げたる當時世人は種々臆測を逞うしてゐたが最近に至り小川氏が遞信局に在勤中機關係の噂があつた遞信局爲替貯金係小栗德太郎（四一）が廿二日午後突然自宅より官金費消の嫌疑にて拘引され同時に家宅搜索を行はれたる上嚴重取調の結果犯罪は過去十年間に亘り巧に會計檢査官及經理課長の目を晦まし二十二萬圓を費消せる事を逐一自白せりと（大連特電）

自首

悪事を悔いて 苦しみながら

猫入らずを嚥んで

二十四日午後十一時半頃一名の内地人男釜山草梁派出所に悄然として入り來り何事をか訴ふるが如き樣子なるに宿直の西川巡査は奇怪なる行動を凝視めつゝ其語る處を訊ねしに、私は罪惡の責に堪へられず一層自殺せんものと決心し只今猫いらずを呑下し絶命の寸前に自首せんと謀りました、私は廣島縣比婆郡本城町西山町一二（三）と云ふ者にて郷里には父持登（五四）妻圓（二九）長男金太郎（二つ）の四人生活であるが舊臘廿三日東城銀行の使にて福山の香島銀行へ金二千圓の銀行切手を携へ現金を受領し歸途につき不圖懷中を探くれば有るべき筈の現金遺失したるに心付き直ちに警察署へ屆出でたるもの、今更男として歸る事も叶はず自殺を圖る目的にて神戸に逃走し同市海岸から投身せしも商船の爲めに救助され其後約一ケ月程船内にて從はれたるが見知らぬ處へ所持金さてなく一層の事自殺すべしと決心して猫いらずを呑下した次第なりと語り終るや顏色は蒼白に變じ來たので早速本署に同行して應急の手當を施し目下加療中なるが同人は神戸にて自殺を圖る前に持合金四百圓を郷里に送り置きたこの事又二千圓を遺失せしが如きは果して事實なるや否やは取調べ中（釜山）

不逞漢自首

平北道義州郡威遠面止心洞白世根（二[illegible]）は一昨年三月白馬青年團と稱する不逞團に加入し獨立運動を企てつゝありしが到底獨立の不可能なることを悟り前非を悔いて數日前新義州警察署に自首して出でたりと（新義州）

婦人と家庭

日本の婦人（下）

話の下手な日本の婦人 修養と研究が肝要

鳩山春子女史談

日本の婦人はまだ修養が足らぬ女學校位は未だホンの初步で學問など大仰に云はるべきでは無い。殊に只さへ見聞の狹い智識の乏しいものであるに一度家庭の人となると

書見などは 殆ど忘れて了ふやうで夫との話の合はなくなると云ふことも亦當然の事である。修養せよ研究せよと云うた處で、何も大聖人になれ大發明をせよといふのではない。例へば一寸した料理にした處で粗末なまづい材料を手をかけ美味ならしめ、又著物などでも他人が三年持つ處を五年六年まで保つやうに巧妙に手入工夫をし、且は

いろ〳〵に 應用するのが研究である。であるから教育の程度修養の程度が高くなればなるほど、話の範圍が廣く深く大きくなるのは云ふ迄もない。ここで、若い婦人達は殊に時勢に遅れぬやう修養と研究を怠らぬことが肝要である。一枚の新聞でもいろ〳〵の事が書いてあるから、小說又は三面記事のみを讀はず、社說又は二面あたりの外交經濟等の記事にも

相當に眼を 通すやうに心懸けるのが肝腎である、是からの婦人は只家持がよいといふ丈けでは駄目である。よく諸の分る婦人でなければ今後の世の中に立派に立つて行く事は出來ない。されば此點にもよく〳〵留意して何事につけても研究を怠らぬやうに心懸くるが大切である（終り）

職業婦人

白のエプロン姿

東亞煙草會社の女工

先生々々と呼ばれ親しまれて咽せ返る煙草の香の中で働く

這入つたばかりで咽び返る樣な臭ひが鼻を突く東亞煙草會社の工場の中で、働いて居る内地婦人は現在十二人計りで、殆ど内地の專賣局から廻された

模範職工 である。二千人許りの鮮人男女の普通職工は先生々々と呼んで非常に親しみ其指圖で原料葉煙草の、刻むやら、卷くやら、包裝など、三十種許りの分業によつて、立派な煙草が出來る。一日の出來高は總掛で二千五六百萬で、其中には口付もあれば兩切も刻みもある、模範職工はこの數多の製品と大勢の職工との一切の監督なので

隨分面倒 である。それに現在の作業時間が午前七時から午後五時迄で、其の中には尤も午前午後に三十分以内の休憩時間はあるが監督者も同樣で今頃の日では朝もまだほの暗い時刻から電燈の下で白いエプロン著けて仕事にかゝり、辛い煙草の香と埃の中で日が暮れるそれにこゝへは夫婦共々に働く人が多く

十年以上 の勤續者は珍しくなく、皆會社内の社宅に住居してゐる。給與額は最低三十圓位から古い人は六十圓位、此外年二回の賞與がある。又會社として特に職工に對する救濟法が定められて産前産後の休養大災時に於ける救濟も行屆き醫務室の備へもあつて公傷はいふ迄もなく、私傷にしても其の家族に至る迄夫れ〳〵

手當の途 が開かれて診察や藥價は殆ど無料に近く又常に職工の健康診斷が行はれてゐる總體こゝの仕事としては隨分面倒な忙しい仕事であるが日々多數の教育風習の相違してる鮮人に接する處から時としては噴き出させるほどの滑稽なも演ずる事もあるさうな

名物平壤栗

前年より五百二[illegible]

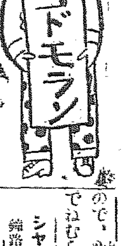
過般來極めて良好なり[illegible]の産額を調て見ると一萬七百六十七石であるが之を同年の價格にすると二十三萬六千五百九[illegible]てゐるのは前年旱害影響と開花時期に降雨が多かつたのが主たる原因だと云ふことである

馬の脚の盗み

[illegible]

平壤の拾兒

廿五日午前[illegible]頃の半年にてそろ〳〵知らぬ頃の[illegible]い路宅したるが被害者の屆出にて發覺し平壤署に檢擧され目下取調を受け居れり（平壤）



火事

鐘路小學四年 戸田三郎

夜二時頃、お母さんに起されたので、ねむたい目をこすりながらねんがはに出て見ると、空がまつかだつた。僕はびつくりして着物を着ていそいで外へ出て見た。すると火事は近かつたので、僕の家が燒けるやうな心持がした。僕の家の前にはをばさん達が三四人居つて話して居つた。

僕『お母さん火事を見にいくよ』

母『あぶないからいけません』

僕『いつたらいけません』

空を見ると、火の子があちらこちらにとんで來たので、僕は心細くなつた。

母『寒いから内へはいりませう』

二人は家へはいつてねた。それだけれど火の子が飛んで來るので、心配して朝までねむられなかつた

シャボテン

鐘路小學四年 川島雪子

シャボテン
シャボテン
一年中
手ヲ出ス
足出ス
アタマ出ス

かもめ

鐘路小學四年 佐々木浩

大波小波が
ざーく〳〵と
うちよる海に
かもめが二つ
南をさして
とんで行く

人夫の慘死

二十三日午後五時四十分平壤七十七聯隊前の國有地岩石採取場にて六七名の人夫岩石採取中岩石崩壞し平壤南町田萬來方居住白麟濟なるもの下敷となり其際丸太で横腹を突き即死せり平壤署より檢視官出張檢視の上屍體は工事監督の田中某へ下渡さる（平壤）

新年碁會盛況

今回府内太平町二丁目十番地の朝鮮聞碁普及會は曾ヶ森下氏開陳披露の爲め二十三日京城俱樂部和泉町支部に於て開催出席者四十餘名に達し頗る盛會なりき

紹介

▲ちよぶやの値下賣出　京城本町ちよぶやに於ては今回産地相場下落の報に接したるに依り直ちに在品の全部を赤札付きとして約二割より三割の値下げを斷行し尚ほその披露として一月二十七日より五日間本場秩父銘仙一反鈔九圓八十錢新十圓五十錢の破格提供をなす由

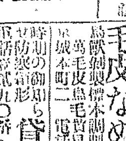
釜關連絡船

釜山發　朝　七、五〇　夕　八、三〇

二十六日朝、對馬丸　夕、新羅丸
二十七日朝、壹岐丸　夕、高麗丸
二十八日朝、對馬丸　夕、新羅丸
二十九日朝、壹岐丸　夕、高麗丸

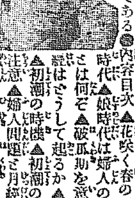
斯界覇王　旭印
防寒 防水 強靱　マント トンビ コート モジリ
年産額貳百萬圓以上 信用斯界に冠たり
品種の豐富 特別製造品 御注文あれ

時代の要求に應じたる被服
裁縫入念 新形 價格頗る廉
寒冷の活動に學校通に是非
官吏、紳士、實業家の流行常備品
雨雪や風の日もなんのその 寒さをしのぐ旭羅紗マント
[illegible]
見本無代進呈
元祖 旭絨布商會　振替東京五三〇五九　電話高輪三三七六番



戸籍上
改姓改名
が自由にデキル秘訣法 行事内容說明書 新聞名記申込者 無代進呈
東京代々木富ヶ谷　白羊社　振替口座東京三三九九六番

◇青春男女衛生修養の一大寶典
結婚前後の心得
◇醫學士澤田順次郎先生共著＝處女と青年へ
嫁入前後の處女や青年は必ず心得べき事柄を知らずに結婚する人が澤山ある、夫が爲に人に明せず後悔して居る人も澤山ある、本書は極めて通俗に何人にも解る樣に說明して、男女の愛情、人生の妙味をも知り又他人に明せぬ人體に起る種々の變化を自分で解決する事が出來又兩親にも相談の出來ざる場合にも最良無二の相談相手となる衛生修養の寶典である



◎内容目次　▲時代▲娘時代は婦人の出發點▲花咲く春の頃▲危險なる娘さは何ぞ▲破瓜期を意味する初潮▲初潮の時機▲初潮の心持▲初潮の來る年齡▲月經中の注意▲婦人問題と月經▲月經に關する迷信と惡習▲破瓜期に身體の變化▲破瓜期の男女に及ぼす作用▲結婚年齡と淫風▲結婚年齡に依り身體▲結婚の修養▲愛情の程度▲小說よりも樂しき婚約の思出▲結婚前後の注意▲理想通り樂しんだ結婚の思出▲其他男女關係から起る衛生問答▲四六版三百頁上製美裝
定價金貳圓　特價壹圓五拾錢　送料七錢　代金引換注文は壹圓五拾五錢
東京市日本橋區新和泉町四番地　振替口座東京[illegible]

大田名物
リンゴカステラ
京釜線大田春日町
元祖 中田堂

天下の銘酒

發賣元
首藤京城支店　電話二七一番
首藤釜山支店　電話二四三番
首藤博多支店　電話八八番

博多取引所仲買人
首藤定商店　電話長二三二　二四二八番

京日案内（番外）

度量衡器賣買修理　京城府龍山漢江通六番地三角地　伊藤商行　電話六四三番

店員至急入用　但シ廿歳ヨリ卅歳迄　市内ニ確實ナル身元保證人ヲ要ス　京城林町一九　木炭石炭商　西川商店　電話一六四二番

京城本町四丁目七十三番地　西洋洗濯　染物　佐野屋　電話一三六三番

若キ者入用　但シ年齡三十歳以上ノ男子　御望ノ方ハ至急御來談アレ　新町　長谷川樓

電話至急買入たし　南山町三丁目一　穗積

店員入用　年齡十七以上二十五以下　京城明治町二丁目　小林靴店

毛皮なめし並に仕立　萬毛皮鳥毛貿易商　京城本町二　電話長二〇六五番　勝本商行

貸自動車　時期の御知らせ　電話本局一九〇番へ御掛け下さい　一時間[illegible]　外廻り[illegible]　京城太平通[illegible]

社員募集　希望者ハ履歴書持參本人來談アリタシ　横濱生命保險會社朝鮮支店　京城府明治町二丁目[illegible]

春川行に賃貸車　京江自動車商會　電話三八二三　京城黄金町二丁目[illegible]

長途の旅の御疲れもなく
王世子殿下御着釜
海上の一夜も恙なう明けて
懷しい朝鮮の山水に接し給ふ
直ちに京城へ

李太王殿下大祥祭御參列の爲め御歸鮮の李王世子殿下は高事務官金武官小山典醫其他の隨員を隨へさせられ二十五日午前八時五十分下の關發特急列車にて落關、官民多數並に御出迎への爲來關せる國分李王職次官等の出迎へを受けさせられ中村下の關驛長の御先導にて直に關釜聯絡船新羅丸に乘船九時半出帆御歸鮮の途に付かせられたり(八島特派員下關發電)

海上の月を賞でつ
恙なく御着釜
父王殿下の御近狀をも御聽取

李王世子殿下は新羅丸御乘船間も無く國分次官を貴賓室に召させられ李王殿下の御近狀等を具に御聽取の後御就寢相成たるが玄海洋上月高く近來稀なる凪ぎにて船は銀波を蹴つて御穩なる航行を續け定刻より二十分早く八時四十分釜山に到着入港せり之より先殿下には東天漸く白む六時過ぎ御起床御食事の後甲板を御逍遥海上の風光を御眺望ありたり(八島特派員發電)

列車の中でも御勉學
平常御勉學の事ども
新羅丸船中にて 金武官談

殿下は高等學校たる陸軍大學御入學以來朝は必ず六時に御起床八時に御登校午後二時から四時迄二時間は激しく馬術の御教練を遊ばされて居られるが馬術の教練では寒中と雖も汗が出ると見え御軍服に浸み出るこいふ有樣である御歸邸の後は學科の宿題其の他の御勉強に從事十二時を告ぐること殆ど毎日の如く御就寢時間僅に六時間といふ御精勵である今回の御歸鮮に就ては往復日數約一週間を要するので隨つて學校の方も此の間御缺席にならなければならぬから列車中に於ても御退屈無く御勉學遊ばされて居つた樣である(矢島特派員發電)

腕押しの御相手ども
‖承はるが到底我々は及ばない‖
新羅丸船中にて 小山典醫談

御父君李太王殿下薨去の當時は御悲歎稍減退の氣味であつたが陸軍大學御入學以來漸次御恢復最近は御身長五尺二寸餘御體量十八貫位にて頗る御健康に渡らせられ時々腕押しのお對手を仰付けらるゝことがあるが到底吾々の僕に及ぶ所でない又は器械體操の如きも非常に御巧妙である

陸軍中尉の軍服で
凜々しい御姿
旅の御疲れもなく
出迎の官民に會釋を賜ふ
釜山にて 野崎特派員發電

一點の浮雲なき碧空に輝き渡る朝暾は釜山埠頭に春光み漲らす今日ぞ久方振に御歸鮮の李王世子殿下を迎へ奉る二十五日の夜下關を發したる聯絡船

新羅丸 は關釜間聯絡船なる航海を續け二十六日午前八時二十分黑子の如き雛影を釜山沖合に現した是より先金丸釜山水上署長指揮の下にある警備船三浦丸は釜山沖に新羅丸を迎へて是に則し港内一般の

警備に 努め陸上の警備は八木慶南第三部長加賀釜山署長以下是に隨ひ萬遺憾なし午前八時頃より御出迎への釜山官民陸續として埠頭に集まり待合室に入りて御着船を待つてば新羅丸は港内に入りて孤を描きて迂廻し八時廿五分第一棧橋前に

船體を 横付棧橋には李王殿下御名代權侍從武官並御出迎御親族總代閔泳徽、[illegible]兩氏赤池警務局長佐々木慶南道知事八木慶南第三部長蒲鐵伊東秘書役本田釜山府尹以下官民主なる者多數の御出迎へ申上ぐ八時四十五分全く繋留を終れば赤池警務局長以下

舷梯を 登りて乘船し特等室に於て坦殿下の接見式を行ひ佐々木道知事の紹介に依つて釜山官民を一々接見させらる本田府尹夫人は愛國婦人會を代表して接見の光榮に浴せり殿下には陸軍中尉の

御軍服 に勳一等旭日章副章を胸間に佩ばせられ御機嫌宜くせられたり接見式を了せられたる殿下には赤池警務局長佐々木道知事と懇談を交じへられつゝ御少憩中國分李王職次官を通じて予は京城日報每日申報兩社を代表して殿下に御接見を請ひ殿下の御群容に接す殿下には予の御挨拶申上げたるに對し起立し給ひて鄭寧なる御會釋ご御返事を返させられたるが御英姿拜するも畏し曩に故李太王殿下御大葬に際して拜し奉りたる時に比すれば一層の御成育凜乎たる御軍裝潑溂たる軍人精神溢るゝばかりにも拜せられた

出迎の官民に
御會釋を賜ひつ
一路京城へ向はせらる

斯くて少憩の後九時三十五分五十嵐船長等の御案内にて船室を出でさせられ續いて藤本釜山驛長岡村營業主任の御案内にて加賀尾釜山署長警護の任に當り

御先導 を申上ぐ殿下には船尾特別舷梯より徐々ご御歩を進めさせられ御下船各新聞社寫眞班の包圍を受けさせられ堵列御出迎への官民に御鄭重なる擧手の會釋を賜はり一二等待合室を横斷り先頭の貴賓車に國分李王職次官其他御出迎ひの面々と御乘込みあり驛結せる

貸切車 には赤池警務局長並に蒲道御見送りの佐々木慶南知事八木第三部長其他の御出迎へ連も乘車し斯して九時五十分發車の合圖と共に坦殿下は御窓口より見送の官民に懇懃なる擧手の禮を賜はり十時前後二輛の機關車の音凄しく列車は釜山棧橋驛頭を徐々に離れ殿下には一路京城に向はせられた

三年振の御歸鮮
殿下も御滿足の御樣子

釜山入港後停留中御船中にて高事務官は語る(釜山特電)

『妃殿下を御帶同御歸鮮の儀は未だ御日取が確定しないが今度李王殿下と打合の上四五月頃に御歸鮮があるかと思つて居ります

御一年祭は流行性感冒、御二年祭は虎列拉の爲め遂に御歸鮮が出來なかつたのは殘念でしたが今年は御歸鮮が出來て非常に殿下も御喜びの模樣です又京城の御動靜は判明して居りませぬが今日も朝早く御目覺めで懷しい朝鮮の土地を凝と御覽になつて居りましたが何しろ三年振りの御歸鮮ですから』

兩殿下への御土產品

李王世子殿下より李王同妃兩殿下及兩公家への御土產品は喪中のことゝて白絹反物各二匹宛也と拜承す(釜山電報)

三年振りで御歸鮮の王世子殿下

大邱を御通過
沿線の御出迎多し

王世子殿下の御乘し給へる第三列車は午前九時五十分埠頭發佐々木道知事八木同第三部長同乘世子殿下は

貴賓車 にて出迎への國分李王職次官赤池警務局長等と椅子を俱にせられ鐵道沿線故山の風物を懷かしまれつゝ四方山の雜談に時を移させられたり三浪津清道各停車毎に出迎へ官民の主なる者に接見せられ

沿道の 鮮民等殿下の御通過を知れるものは仰ぎ見て敬意を表す午後零時二十分大邱著十分停車の間地方官民多數の出迎を受け一々接見せらる慶北知事新任第三部長病道より警護の任に當る

霞の奧に小鳥囀り
‖王世子御著を待つ昌德宮‖
贈物ども御用意あつて
李王、妃兩殿下御待兼

廿六日朝來京城の空は暖かい春の靄が一帶に棲き昌德宮は準備整頓し王世子殿下の御著宮を待たれる李王、同妃兩殿下には王世子垠殿下へ鞭皮三枚方子妃殿下に緞子二匹を御贈呈の準備を整へさせられ御待ち兼ねの御樣子に洩れ承はる、李王職に於ては李長官は微恙の爲引籠り中であの國分次官が下關まで御出迎へ申上げて居るが今村庶務課長李乘武贊侍從官韓贊侍司長等は水原驛まで御出迎へに申上げ禮式課長其他の職員及警察署員等はそれ〴〵部署につきて警戒に任じて居た。王世子殿下の御宿泊に當させられた樂善齋のほこりには小鳥の囀る聲が聞えて居た。

冒險極まる
雪中行軍
薩哈嗹派遣軍の
多門大佐實驗談

薩哈嗹派遣軍司令官附多門大佐はバイカル號の救援後二十四日午後二時大發丸にて小樽に寄港した大佐は亞港から雪中行軍の大冒險を敢行し大泊に到着したもので其陸行に就て大佐は語る

バイカル號はあの狀態になつたので雪中行軍に決しギリヤークの橇三臺アイヌの橇一臺を準備した一臺の橇を十頭乃至十二頭の犬が曳くので七日朝から輕快に雪中を駛り一日少くも

二十哩 進む事が出來た途中折柄の雪に二三回投げ出された北緯五十度の國境には國旗が飜り幾十箇の記念碑が建つて居て甚だ愉快であつた。ナイル以北國境の二十八哩は陸軍で郵便物遞送を引受けて居るので七哩位に府と驛との驛があり

兵隊や 番人も居るそこで泊つたり休養したりして二十二日一度恐ろしい風雪に出合つたが其日はナイルから東チルトリ迄行く途中であつた夜半漸くビンダイリ驛迄辿り着いて本ツトすることが出來た本泊から東シロツプ間十八哩の疾走を試みた同地の人々は遂に夜の十二時半ヒラウラに

無事着 した斯くて十六日榮濱に到著其處から橇を捨て汽車の客となつた(小樽特電)

一千圓提供
せよと脅す

二十四日正午慶南泗川郡昆洪面山路里鄭洪烈方へ一名の鮮人入り來り獨立軍資金一千圓を準備し二十五日夜までに京城某所の李某方へ電報爲替にて送金せよと脅迫し去りたるものあるより泗川警察署にては手配り方を其筋に電請せり(木浦電話)

東京の疑獄

土木請負業大九組相談役中谷政六は二十五日午後三時東京地方裁判所檢事局に召集され取調を受たる後豫審に廻され河島豫審判事の取調を受けたるが同夜九時半令狀を執行され東京監獄に收監されたり同人は東京市下水工事其他市の砂利を請負たる際某市吏員に賄賂せる事發覺したるものなり(東京電話)

嚴寒なして
今年は濟みさう
大正五年に次ぐ温かさ

大寒に入りて例年ならば行人の鬚も凍る京城の冬が今年は昨日今日一度結んだ道路の氷が解け出して泥濘宛から三四月の雪解け頃の氣候は誠に京城に於て稀有なが此の溫さに就き京城測候所長は語る『今冬の溫さは

開設以來 十五年中大正五年の冬に次ぐ溫かさで一月に入つて上旬の平均溫度は零下五度中旬は零下三度本日(廿六日)は一度こ云ふ如く大寒に近づくに從つて溫かい之を大正五年の冬に比較すると五年一月上旬平均に比して七度七九中旬平均に比し一度五何れも低く五年一月の最高溫度十二度二最低零下十二度五に比し本年は最高八度五

最低零下 十五度三こあつて五年冬の暖かさには及ばないが然し之を例年の平均溫度一月中旬に比すれば二度八高く例年平均一月最高溫度零下七度最低零下十度七に比して如何に暖かであるかが知れる然して此溫暖の理由は例年冬期に於て西伯利蒙洲より北支那に高氣壓發生し爲に西北の寒風が吹き捲き氣溫を低下せしめて

所謂嚴冬 の寒さを催すものであつた所本年は氣壓關係に變調を來したこ見え前記の北部方面が溫かく高氣壓は却て支那中部に南下發生した爲め西風が多く此の風は滿洲を襲つて朝鮮半島を襲ふものなるが爲め和らげられて氣候を溫め加ふるに濕潤なる爲め朝夕霧が濃く晴れかと見れば曇り冬期には稀有なる水氣の外い天氣を現すに至つたものである然して斯くの如く冬期に於て氣壓の

高低配置 狀態に變調を來すと其變調が順調に復するには何うしても春先(三四月頃)を待たねばならぬのを常とする所から今年の冬は此の上に最早大した寒さは來ないものと思へるたゞ多少の寒氣は有らうが溫かに馴れた人々が先を嚴寒と思ふ程の寒さはあるやも知れない、然して此の冬は斯うして餘り寒からずして越えて却て春先多少氣候が後れて溫さが早く來ないと云ふ如き虞れが無いでも無い故に農作物なども多少後れ花も後れるやも知れぬが大した作物への被害は有まじと思ふ』云々

孫秉熙一派
移監
京城監獄へ

西大門監獄に服役中の孫秉熙一派二十餘名は廿六日午前九時頃自動車又は徒歩で京城監獄に移監した

怪しき米人
監視嚴重

警視廳外事課にては數日來神奈川縣警察部と連絡をとり京濱間にある在留米人の行動に對し秘密に監視を始めたるが右は彼等が互に氣脈を通じ日本の國情調査に全力を傾注し特に軍事上の機密に着目せるが如きによるものとして憲兵隊も昨今同樣の警戒に力め極力內偵中也(東京電報)

紊亂の極に達せる
關東廳の官紀(大連電報)
公金費消事件の外
樺太長官の阿片密輸發覺

關東廳の官紀紊亂は其の極に達し事件の發覺と共に益新事件の發覺を見るに至れるが中にも別項記載の如く遞信局の醜態は甚だしく小栗書記は大正二年來竊盜して二十萬圓の官金を費消せる事發覺し遂に今回收監されたるが、更に某高官と

前樺太長官平岡氏

この間に於ける阿片密賣事件も發覺せる如く關係官吏にして今日迄に收監されしもの既に二名あり

東西入れ替り
新東方では兩國の小結
西方では清瀨川の關脇

東京大相撲協會では春場所の成績に依り番附編成をする筈であるが橫綱大關となる者は勿論なく、完全の入替者は能代潟一人で、候補者としては朝見嶽、光風位なものであるそして落ちる者では八甲山、逹の矢位で勿論中西は入れ替へとなり新東方は關脇までは變動なく小結には兩國がなり筆頭は摩耶颪であらう新西方では清瀨川が關脇となり、紅葉川が小結となり、筆頭には若葉山が來ることゝなるであらうと(東京)

米國少年の寒稽古遊び

近頃米國の少年間に寒稽古遊びと言ふ雪中裸體で寒さに耐ゆる遊びが流行しだした圖は紐育郊外の雪中で裸體橇乘りの遊び

二組の駈落
龍山署に保護願

廿五日龍山警察署に宛美人の寫眞二枚を添附し取押さへ方を依賴し來れるが逃亡美人は二名共藝妓にて石川縣能美郡小松町木折町貸座敷米西野方抱藝妓米澤きよ(二三)及鳥越こと(二一)の兩名にて藝名末七きよは本田豐公(二五)ことは松田與次郎(四六)の何れも情夫を駈落ちしたるものなりと

休院廣告
至急東上に付二十四日より向約三週間休院

龍山 松村二省

投身を企つ
痴話喧嘩が原因

二十五日午後九時五十分頃漢江第二人道橋上に一名の婦人がシク〳〵袖に涙を拭ひつ、水上に水面の箇所を尋ぬる風態怪しき徵見ゆるより巡回中の龍山署員が發見し本署に同行取調たるに同人は府內御成町六三北田利治の妻菜にて同夜食膳に向つて夫婦仲よく晩酌を傾け微醺機嫌に痴話喧嘩をなし叩き出されて此の仕末と判明

内鮮人喧嘩

二十五日午後十時頃府内黃金町三丁目飲食店金仁鳳方に於て酗酒せる二名の内地人と三名の鮮人が入亂れて格鬪し一名の鮮人重傷を負ひ龍山署に急訴せるが加害者は岡崎町八七柴田久米次(三五)同番地渡部安吉(四七)の二名にて被害者は鄭在秀(三二)と勞働人夫なりと

藝壇 一壽館好評

稀らしい粒揃ひの歌舞伎、到るところ好評を博したのも成程と首肯かるゝほど這入つた京阪合同歌舞伎一座がある、初日の活歷物と所作事三日目で一座の腕を見せ觀客にアッと云はせて十分以來日に增してヤンヤの大人氣である、二の替り前狂言『吉田御殿』の『振袖』中の『心中天網島時雨の炬燵』一切の新歌舞伎『紅葉狩』も流石にで一座の十八番だけに見事な出來榮えあつた。兎に角近頃に見ない腕達者な若手ぞろひ、それに衣裳もない雛方なり先づ〳〵中分なく活氣に充ちてギビ〳〵した歌舞伎は見るからに久し振り溜飲の下る感がある。因に今夜からは特等二圓以下これに準じて木戸値下の破格大勉强で閉演の由

▲黄金館 二十七日より新寫眞發表

▲悲劇『魔人』▲新派悲劇『女の一念』全四卷▲連續劇『世界の眼』▲舊劇『寛永三人男奴』全五卷

地獄耳

▲近來各方面で内地人が鮮語を、鮮人が内地語を習ひ出したのは喜ぶべき傾向で曩きに大正親睦會で珍しい此例があつたのは未だ讀者の記憶に新らしい事である▲此間赤池局長の處へ一兩班が訪問して來たので赤池サン椅子を勸めて『アンチショー』と鮮語でやつた所が兩班はキョロ〳〵して椅子に腰を下さぬ▲局長は不思議に思つてアンチショーを連發するも益々其兩班が恐縮するので何した事かと心配した▲處が赤池サンの鮮語が怪しい發音なので『アンテゲツソ』と兩班に聞かたらしい『イカン〳〵』と繰返すのだもの兩班が恐縮したのも道理▲とんだ間違な

大聖釋尊教示靈藥

當國蘇鐵精選品は
▲賜皇太子殿下御台覽之榮
▲閑院宮閣下を始め各將校下士團御愛用品
▲軍醫總監醫學博士男爵故高木兼寬閣下御實驗品
▲侯爵大隈重信閣下御常用品
▲全國特產品博覽會に於て有効賞牌受領

鐵分が人體に偉大なる効力ある事は既に三才の童子でも知るなり殊に胃病に鐵分は第一偉効あるものあるは鑛泉を飲用せしめ又種々強健劑としての術或は鐵汁酒等に鐵分を投入するに依りても明なり然るに蘇鐵精は古より世人の認めて珍重する所なるも氣候に適合せされば得難きこ老樹の遺る所は少き爲め其收穫稀なれば需用者の苦心非常なるに高木蘇鐵は永年其收穫と精選に結晶したる効果茲に十年以上を經たる老樹より採取せし奇効ある靈寶を提供しつゝあり百藥効なき諸病患者は須らく此靈藥を御服用あれ

定價 靈寶 壹ケ月分 貳圓
粉末 壹ケ月分參圓 二週間分壹圓半 (送料 内地十二錢 海外三十錢)

【參考】腦病、胃腸病、心臟病、神經衰弱外脊髓病、子宮病、產前、產後、ヒステリー血の道

御注文は振替貯金か爲替で御送金下さい着金次第直に發送します代金引換御希望の御方は最寄郵便局名記し居宅引換とはがきで申越次第送藥します

北白川宮殿下御前口演者 直營 高木蘇鐵子
京都新門前中町十(高木蘇鐵園)振替大阪四七〇九番

ネッスル ミルクフード

小兒 病弱 老衰

お醫者樣は必ず御勸めになります!

母乳代用、病弱、老衰、產後、產前、催乳!

下記見本券に郵券十錢御添附の方には見本呈上致します。

▲僞物あり……

▲鳥の巢の商標に御注意

見本券 住所 氏名
橫濱郵便局私書函三〇四號 ネッスル及アングロスヰス煉乳會社行

LARGE C.SAKAI
賜 宮內省御買上之榮 各宮殿下御買上之榮
ラーヂ萬年筆の名聲 信用今や天下に遍たり
ラーヂ萬年筆
特約大店各地に在り
用御院習學・院族華・院族貴
東京市下谷區練塀町十一 酒井長次郎商店

貸家

一場所 京城南大門通三丁目(孫カフェー タイガー跡)
一洋館 三階建事務所及住宅

御希望に依り二階と三階にても各階別にても御相談に應ず直接御來談あれ

京城南大門通三丁目 京城寫眞館 野々村謙三 電話一〇四〇番

一萬圓位の貯金は誰れにも出來る

▲世の中には一生懸命働いて金を殘らぬ人あり遊んで居て金の殘る人あり病人と老人とは論外だが其他の人なら男でも女でも月給取でも農民でも小商人でも働きさへすれば一萬圓位の貯金は出來る工夫がある▲本社長高柳淳之助先生は元栃木縣の貧家に生れ無一文にて上京し苦心精勵十三年今や百萬の富を積み代議士に當選し勤儉の結果を授けんとする資力ある者にも成功を得る迄の經驗と研究により一萬圓貯金法を立案し廣く世人に公開せんと爲め每月一回機關雜誌『貯金の研究』を發行せらる▲本誌一度世に出づるや好評嘖々讀者は記事に感心して直ちに貯金を始め中には本誌を五十部も百部も買つて知人に分つ篤志家まで出來た▲先生は此の意外の成績に感奮し一層全力を盡されつゝあり▲早く家を富ましたい貧苦の苦みより脫したいと思はゞ直に『貯金の研究』の愛讀者たれ郵便切手三十錢送れば見本送る

『第九卷一號出來』

東京市神田區小川町一六 貯金研究社 振替貯金東京三〇八九番

長崎縣南高來郡江の浦補律初では警部補刑事等出張檢…(二九)は廿四日午前十時頃同地樱したるが傷は大小十數個所にて[redacted]せば昨年七月來窃盜罪に依つしたるが同人は昨年七月本道龍の、如し傷は差したる事なく癒…龍岩浦鐵崎吉太郎方志岐茂七…とあるが若し果してそれなり…し者は長崎縣南高來郡西有家村永野志岐茂七郎(三)なる事判明急に此世が厭やになつたと言ひ居るも他に何等かの事情あるも

十餘石の減少
…平壤の名物として第一に指を折らねばならぬ平壤栗の大正九年…價格は勿論低廉であるが十萬…二千餘圓の減額を示し生產高に於ても五百二十餘石の減少を…平壤にて興行中…遊興せしが…

慶安太平記

小金井芦洲講演

第八十一席

丹三郎の考へでは柳生公のお屋敷へ奉公でもすれば直ぐ其日から劍術でも見られることかと思つて居りましたが、偖て住み込んで見ると然うは往かない、毎日々々諸侯方が七頭八頭宛で多くの供方をお召連れになつてお出ではなるが、道場といふのはグッと隔つた所で仲間小者などは迚も近寄る事は出來ない、丹『ア・殘念だな切望一つ見たいものだが……』と頻りに氣を焦つて居る、或日のことでお庭掃除を吩咐かつてお庭先へ入つて彼方此方と掃除をして居ると、遙か向ふの棟で『エイッヤッ』ボン〜〜ボン〜〜といふ竹刀の音が聞ゐる 丹『ハヽア御奉公をしてまだ間がないから道場が何處にあるか知らなかつたが、彼方だな成る程身分の卑い者なぞが近寄ることの出來ねのは無理もねい、今日は俺のためには忌はぬ吉日、ドレ〜拜見しやうだが御身分の高いお人達が隣見をして居る所なぞを拜見つた日には大小言だ成るだけ目に付かねい所から拜見をしよう』と道場へ近付いて來てヒョイと向ふを覗いて見ると、今日は柳生公がお稽古の當日でございます、日々數百人の弟子はお通ひになるけれども、柳生但馬守御自身にお手を取つて教授をなさるのは月に僅か六度でございます、平素は柳生の四天王と言はれる大道寺平馬、梅津半右衛門、河内源内、河野與八郎此四人が代つて指南をする、然るに今日は但馬守殿御自身稽古を付けてお居でなさる、覗いて見ると有樣は天下一の道場ぢうも大層なものだ。道場の行儀凡てのことが能く行届いて居る、一絲亂れず整然として居る有樣は思はず丹三郎も驚いた 丹『アヽ…大層なものだなア、有繋は八百萬石征夷大將軍に御指南をなさる御方だけあつて竹刀一本で一萬石田舍にばかり居つて鬼松を寵などの道場を見て居た眼では唯々呆れざるを得ない』と感歎措かず、頻りに見物を致して居りましたが、是れが當人何より嬉しかつたと見ゑて、是れから後といふものは始終お庭の掃除といふこ人に先んじて自分が入つて來てやる、又外の者はお庭の掃除なんぞは實に厭がる面倒で〜ならないから當人の望みに任すれば却て自分等が樂が出來ますから遣らして置く樣な都合で、お稽古が始まりさへすれば道場の傍らへ來て覗いて居る、二度が三度、三度が四度と重なつて來る、道場を堅めて居るお弟子方が ○『コレ〜其方は毎日稽古が始まると覗いて居るが、仲間部屋へ此頃來た傳助と言ふ者ではないか 丹『ヘェ恐れ入ります ○『劍術が好きか 丹『誠に申兼ねましたが、私は飯よりお稽古を拜見するのが好きなんで、お掃除を一生懸命に早くやつてしまつては斯うして拜見を致して居ります ○『夫れば下郎に似合はぬことだ、お履物を直させてやるから此方へ入つて此の土間で謹んで拜見をして居るが好い、外から此ッ覗いて居つては不可ぬ 丹『ア・有難う存じます、然ういふことになりますれば何よりで……』とこれからといふものはお庭を手早く掃除をして了ふと道場へ這入つて來て、皆樣のお履物などを揃へながら拜見をする、斯うなれば天下晴れての拜見でございますから大喜び、如才なく立廻りますに由つて旗本のお弟子なんぞに大層氣に入られて、『那れは何んと申す下郎でござるな ○『傳助と申します、三度の食事よりお稽古拜見が好きだと申すので餘程變つた奴でござる』

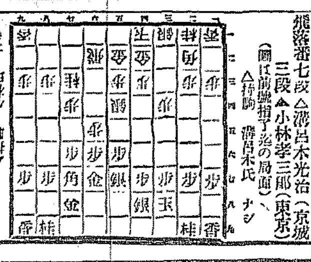
パン 業務擴張 品質本位 永樂町二 神戸屋

上京中ノ處歸院致候
大正館隣滿田齒科醫院 滿田操
衛生入用履歷携帶面談

名花の雲 トキワ謹製 優寶元 月治屋

將棋新手合(二)

於京城貸金所三丁目三三五
飛落番七段 △滞呂木光治(京城)
三段 ▲小林孝三郎(東京)
(圖は前號指了迄の局面)
△持駒 滞呂木氏 ナシ



△九四歩▲四四歩△同銀▲四五銀△同銀▲四四歩(イ)△同角▲同角△四七歩▲六二角△同玉▲二六角(ロ)△三五歩▲四七金△四四歩▲四五桂△五五角▲七七桂△四五歩▲三五角△四四銀▲二六角(以下次號)

▲滞呂木七段講評
▲(イ)四四歩は此場合面白き手段なり
▲(ロ)二六角打面白からず此際桂が四五桂にて指よし

最も安値な
和洋折衷宴會
八景園新白水で
致します
新年宴會其他に御利用を……(電龍山四六番)

一月二十八日

(舊曆十二月二十日)
▲金曜日 ▲辛卯 ▲一白 ▲暗劍北方 ▲先勝 ▲元

▽一白▲逆轉の日焦るほど効果が離く何事も消極的に有利
▽二黒▲弱みに付け込まれ易く骨折損に終る日新事凶舊事は吉
▽三碧▲進むより守るに利の日
▽四綠▲極めて順調凡そ何を爲すも面白き日待人達くより來る
▽五黃▲調和を缺く日品澤山爲內證の怨みあるべし辛抱が第一
▽六白▲平かな日諸事心の儘に運ぶ日開店旅行金談結婚等は吉
▽七赤▲幸運の日營運を意味す心を正しく持て諸事上々首尾日
▽八白▲喰ひ違ひ多き日大きな企ては凶附替想戰相談等は見合
▽九紫▲物事滯り勝の日深く愼まざれば意外の失敗を來す

專賣特許 包皮自然自療器
▲藥品一月分付 輕症用金參圓五十錢 重症用金四圓参十錢 送料三十錢
本器を簡單に局部に取付け置けば從來の切開手術の外なかりし包皮が少くも無痛無痕で而も短期間に完全に根治す
京城府黃金町壹丁目五五
株式會社新療法研究所京城支部
振替京城五四三五番

新案耐水調革 新案ハラダ調帶
新田帶革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
(定價表申込次第進呈)

眼科專門・入院隨意
京城若草町(黄金町通り新道路中程)
金井眼科醫院
電話一五五六
日曜祭日診察午前中

特約店 佐倉金庫
佐倉金庫ノ堅牢優美ニシテ至廉ナルハ世已ニ定評アリ今之ヲ贅セス
型錄御申越次第進呈猶手提金庫ハ此際破格大勉強可仕候

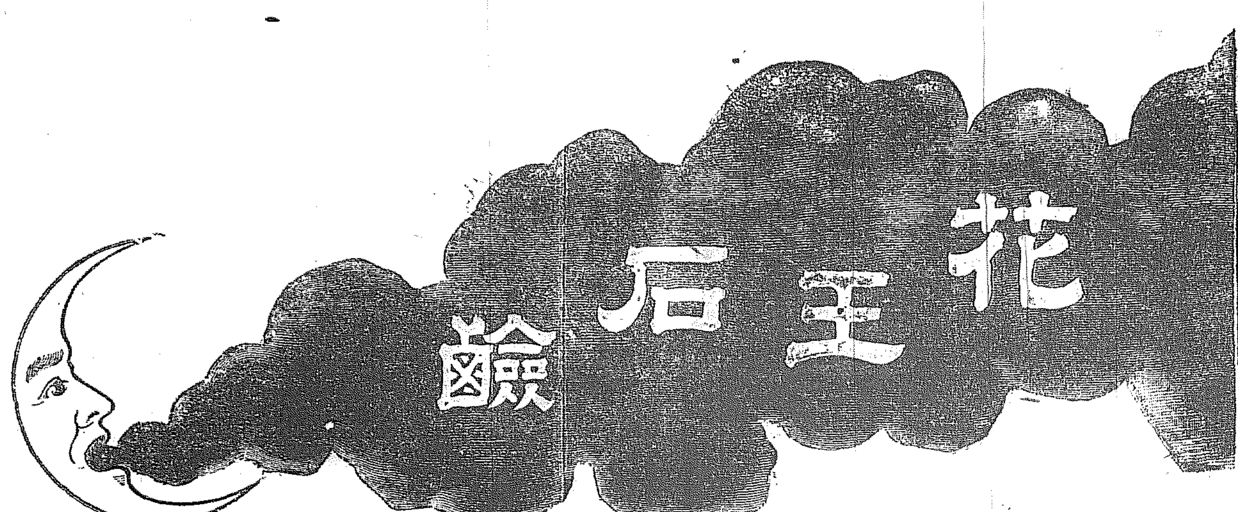
電話長二四三番 電略(サト) 振替口座京城一貳〇番
京城本町三丁目 佐藤半次郎商店

瀬戸外科皮膚科醫院
京城旭町一丁目(旭三丁目)
醫學士 瀬戸潔
(診察夜九時迄)(電話二四九八番)

仁川 佐藤病院
電話四〇九番
院長 ドクトル メヂチーネ 佐藤小五郎
入院應需

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城舟治町壹丁目 電話二一〇二番

肌を美しく色艶を麗しくする
最新發明の理想的男女兩用化粧料
(本品はホーカー化學研究所に於て最も誇とする苦心創製の逸品)
ホーカーオナー
ホーカークレーム
お化粧下としても從來のクレームに優る事數倍にして好評眞に湧くが如し
定價 小瓶三十五錢 大瓶六十五錢
送費 內地 六錢
ホーカー化粧品本舖 東京神田和泉橋際
堀越嘉太郎商店
電話神田(四三一)(四四四)(一五五六)
振替東京



謹而申上候

各位愈御清祥奉大賀候 弊店儀舊年中は格別の御愛顧に預り難有奉存上候 御蔭樣を以て昨年來財界の不况にも拘らず商運逐日隆昌を致し候段偏に大方各位の熱誠なる御眷顧の賜と存じ永く感銘可仕處に御座候 さて今更申上候迄も無御座候へども花王石鹸は華を去り實に就き徹頭徹尾品質の純價格の廉を以て終始致し候上衛生的並に化粧上の用意に至りても自ら他と選を異に致し居候事は江湖諸君士の均しく御識認あらせらるゝ處に御座候 一方近時急激なる文化の開發は世運の進展と相俟つて舶來品必ずしも優良なるにあらず國産の却て彼を凌ぐべきもの多々可有之を自覺せしむるに立到り候事邦家の爲御同慶至極に御座候へども而も一事各位の御熱誠微つせば奚ぞよくこの新價値發見の道程に達するを得んや 今世界の聯盟成り偃武太平の大御代目出度き限りながらなほその裏面に向へば仲々安心なりがたき廃傻指に遑あらず 今よりして自給自足の大本に向ひ努力可致は吾人商工業者の夢寐にも忘るゝ能はざる處に御座候 されば國産の發揚外品の驅逐 こはその第一歩に過ぎずといへども而も一に各位の熱誠なる御援助によつてのみ達すべきは言を俟たず 勿論本品に於ても更に一段の努力を加へ品質の改善製造率の増加に至つては更に大に期する處有之 茲に年頭に際して各位の御慶福を祈り尚ほ倍舊の御愛顧を賜へと爾云

大正十年一月

東京馬喰町
花王石鹸本舖
長瀬商會敬白

日本郵船仁川出帆

△大連太沽牛莊行
高砂丸 月 日正午出帆
濟州丸 月 日正午出帆
花咲丸 月 日午前出帆
本船出港の一時間前ニ依リ早使ヲ以テ税關前ヨリ艀船ニ乘込被下度候 ベク送迎船ハ艀客ノ送迎ヲ成可ク御斷リ
仁川海岸町一丁目電話十番 郵船出張所

共同汽船仁川出帆

▲芝罘大連行
第十二共同丸 月 日午後入港 月 日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送 大連にて滿鐵連絡 乘客定期船後の
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目電話一〇四、一七三番
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部 春日町電話一四七番
京城取次店 河村運送店 南大門電話二七六〇、八二

尼崎汽船仁川出帆

▲群山、木浦、下關、神戸、大阪行
一心丸 月 日後五時出
神代丸 月 日後五時出
秀吉丸 月廿六日後五時出
◎印一二三等船客御斷 △印二三等船客御斷
仁川海岸町 電話五九番 高杉回漕部

互光商會汽船出帆

第三互光丸 釜山發
一月三十日門司宇品神戸大阪行
二月九日元山城津清津行
第三互光丸 元山發
一月二十三日城津清津行
一月廿八日釜山門司神戸大阪行
取扱店 釜山 大池回漕部 元山 田口回漕部

朝鮮郵船定期

電話二二三一番二二三二番二二三三 朝鮮郵船株式會社
◎釜山支店 佐藤町電一八四〇番一八四六
◎元山出張所 海岸通電一〇二番
◎京城取扱店 南大門驛前松原運輸店
○電一一七〇◎當社は滿鐵の月本店營 大阪商船會社等と運帶郵便輸會社
元山出帆 取扱店吉田運輸會社
釜山丸 一月 日 大阪行
會寧丸 二月廿九日 下關行
隱岐丸 一月廿七日 江原道行
立神丸 一月三十日 敦賀行
京畿丸 二月廿七日 清津行
清津丸 一月廿八日 雄基行
[illegible]丸 一月三十日 浦鹽行

大阪商船汽船出帆

◎釜山出帆(取扱店大池回漕部)
咸鏡丸 一月廿九日 大阪行
會寧丸 一月一日 下關行
新義州丸 一月廿九日 仁川行
會寧丸 一月七日 北鮮行
河津丸 一月一日 浦鹽行
金海丸 一月二日 鬱陵島行
昌平丸 一月廿七日 濟州島行
昌原丸 一月廿九日 木浦行

◎木浦出帆(取扱店山野回漕部)
平安丸 二月一日 横濱行
成鏡丸 一月廿七日 大阪行
公州丸 一月廿八日 濟州島行
慶興丸 二月一日 多島海行
新義州丸 一月卅一日 仁川行

仁川出帆(取扱店堀回漕部)
平安丸 一月三十日 横濱行
新義州丸 一月三日 大阪行
全州丸 二月一日 木浦行
錦江丸 一月廿八日 濟州行
盈德丸 一月一日 鎮南浦行
江原丸 一月三十日 青島行

上川出帆
群山木浦大阪行
天智丸 一月 日後四時出
石見丸 一月 日後四時出
△鎮南浦行
△長良川 一月 日正午出
元山出帆
浦津行
宮島丸
釜山門司宇品神戸大阪行
宮島丸 一月廿九日後九時出
月 日後十一時
大連出帆
上海北陸打狗行
基隆丸 月 日後四時出
丸 月 日正二午出
内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 毎月四回
南米行 一年四回 孟買行 毎月四回
濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
▽御注意 ◎印乘船客本船乃約一時間前に御乘船被下度候
▲印 等客御斷 △印船客御斷
大阪商船株式會社仁川支店
電話一二三番二一〇番五五〇番

地場銀行の活動

京城に於ける組合銀行は鮮殖兩行特殊銀行を除くと七行となる內三行は內地銀行支店で他の四行は地場に本店を有する銀行である內地銀行と

地場銀行

はその營業上の勉强に於て幾許の差があるであらうか各銀行の預金と貸出を見ればすぐ分る譯である乃ち左表の如し（但し銀行名を出す事は多少憚る方面もあるにつき略す）

內地銀行支店

	預金	貸出
甲	[illegible]	[illegible]
乙	[illegible]	[illegible]
丙	[illegible]	[illegible]

地場銀行

	預金	貸出
甲	[illegible]	[illegible]
乙	[illegible]	[illegible]
丙	[illegible]	[illegible]
丁	[illegible]	[illegible]

右の如く內地銀行支店の預金は何れも貸出しを多く超過してゐる甲銀行は約二百七十萬圓乙銀行は二百六十萬圓を算し而して丙銀行は貸出しは預金の三分の一もない 丙銀行は地方に關係を多く有つてゐるから多少は地方に廻金してゐるやうだが兎に角貸出しは預金に比して少い然るに地場銀行は甲乙丙丁の**四行共に放資は遙に預金を超過し**てゐるこれは預金と拂込資本金と鮮銀の融通と積立金等の運用となつてゐる此の

數字の對照

比較には色々の說もあり觀察もあるであらうが要するに地場の銀行は京城金融界のために大に勉强してゐると云はねばならぬ成程內地銀行支店に曰はすと貸出す方面がないし資金の需要乏しきため止むを得ず預金の殘は內地に放出してゐるとなすだらう成程一理あるが**放資難は地場銀行にもある譯で**あつて內地銀行のみの憂ひではあるまい從つて年來內地側銀行によつて唱へられてゐる預金利子協定嚴守のやうなその結果預金の內地側銀行に移動を來すべく推測さるる申合せは京城として尙早であるしそのために

金融界

の故障を起すかも知れぬので實行すべき事であると思はぬと某有力者は語つてゐる

（東拓貸出續）して十二月末貸出殘高增加の割合を見るに前月末に比し百十六萬圓の增加を來せり十二月末の如し

定期	一、〇二〇、〇〇〇圓
年賦貸附	八五〇、〇〇〇
計	一、八七〇、〇〇〇

定期	九、一八四、七六三
年賦	二七、二二八、六〇五
代理	三四六、三六九
計	三六、六五九、七三七
十一月末	三五、四九九、一三二

尙ほ目下貸出手續並に調査中のもの二百六十一萬圓にして之等は何れも近く貸出を見るべしと

森鐵軌幅

廣軌か狹軌か

朝鮮森林鐵道の軌幅は當初狹軌式による事となり總督府の許可を受居れるが廣軌とする時は咸興より第一期線古邑里までの三十餘哩に一千萬圓以上を要するため廣軌敷設をなすも政府の資金收期限迄なるべしとの觀測は最近重役間に資金の關係上狹軌敷設論をうみ目下研究中なるが狹軌とすれば約七百萬圓乃ち三百萬圓以上の節減にて一期線を完全し得べし尙は解氷後會社も敷設に着手する豫定なれば近く何れにか決定を見るに至らん

木材資金

回收延期如何

昨今の結氷期に於る京城の木材界の取引閑散は敢て異とするに足らざるも京城に於ける有力材木商中昨年九月手許金融の逼迫を告げたるを以て遂に

取引先銀行

に對し一種の救濟を要請し其結果木材商ご取引ある第一銀行十八銀行朝鮮商業銀行は協議を遂げシンヂゲートを組織し約三十萬圓の融通をなし其條件としては不動產有價證券、並に現品の擔保とし期限は昨年十月末日を以て第一決濟期となしありたる者か爾來財界の依然立ち直らざると結氷期に入りたるとにて荷動きなく不賣れ閑散の狀にて今日に至り右借入金をなしたる向は返濟に焦慮するも止むなく期日延期を懇願するの餘儀なくされ一方銀行側は既に充分の擔保品あるを以て期日の延期に應じ居れる模樣なるが尙銀行側の木材界需要の前途に對する意見は其

活潑の賣行

を見る如きは財界の前途の立ち直り來らざる限り望み難き事なるも本年は近年稀有の暖氣にて結氷期間も短縮さるゝ傾向あると本年度警察の造營工事竣工後とは陸軍側及び警務局方面の造營により木材界も多少の活勢を見るべしと期待し居れり

三銀行總會

朝鮮商業銀行 は二十五日午後銀行集會所に株主定時總會を開き既報の如く決算案並益金分配案（配當年一割）を可決す

朝鮮實業銀行 は同日午後公會堂に株主總會を開き決算並に益金分配案（配當年八朱）を可決す

漢城銀行にては同日午後本店樓上に株主總會を開き同じく決算並に益金分配案（年九分）を可決取締役李允用韓相龍兩氏改選の結果重任に決定

東拓鮮內貸出

三千六百萬圓

東拓に於ける鮮內貸附の狀況を聞くに客年財界不況以來金融梗塞の度を增し產業開發上輕々看過すべからざるもの有るを以て東拓に於ては爾來不況の意味に於て幾分積極的の貸出をなしつゝあるが更に本年に入りても引續き放資を繼續し居る模樣にて十二月中貸出高百八十七萬圓に達したり內譯如左

財界閑話

殖銀では二月の總會に理事の增員をやりはせぬかとの說もある▲公共團體課長深尾君のための豫想らしいが同行首腦部では提案を否認してゐる恐らく今夏か來年の二月だらう▲有賀頭取は色々と辭令が出る世間の方は氣が早いと云つて笑つてゐた▲舊正も近いが財界は舊正前らしい色彩を帶びて來ぬ▲地方筋の疲弊ご鮮人も商取引の決濟は多く新正にやる樣になつた爲だらうとも云ふ▲一銀の移轉で雜報子の豫想してゐた如く實銀ご百卅はボツ／＼預金は殖ゑ▲商銀本町支店もお多分に洩れずいくらか好い方だこの事▲そこに漢銀本町派出所の侵入は何を語る本町筋の銀行戰か▲某銀行家曰く株主總會で經費の節減を要望するのは尤もだが▲銀行の競爭烈しい當地の事だから經費は多く使つても多く儲けて欲しいと云ふ株主もあつてよからう▲[illegible]の支出をケチ／＼してゐては成績も自然上らなくなる

……こはナルホド

私鐵評議員會

私鐵協議員會にては二十六日午後一時より京城東拓支店樓上に於て第三回評議員會を開きたり

私鐵法令集

朝鮮私設鐵道法令集は過般來鐵道部の援助により私鐵協議會に於て編纂中の所此程脫稿したるを以て目下印刷中なり右法令集は鐵道營業者從業員等の實務に便する爲編纂されたるものなり

信託委員會

京城證券信託會社創立委員は二十七日午後一時市場樓上に會合株式割當其他に就て協議を爲す筈

仲買人總會

二十六日午前十一時半より市場樓上に仲買人總會を開き信託株引受に關する協議を爲せり

資金の消化增

舊正節季切迫したれど資金の需要は格別に起らず尤も地方筋に關係深き殖產銀行の本支店取引關係は最近送金の方面より多く何程か資金の消化增せる模樣なり

平澤廻米一巡

平澤に於ける舊臘の新米出廻りは頗る旺盛にて商銀の如き金融繁忙を感じゐたるが越年後廻米の減殺模樣にて資金現送は僅に二回に留まり今日まで本店より急を要する廻米の一巡せしにあらざるかと

株式（廿六日）

現株市場出來値

銘柄	前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	三三・〇〇 三三・一〇	三三・一〇 三三・一〇	三三・〇〇	三三・〇〇
殖新	…	一五・〇〇	一五・〇〇	一四・九〇
東拓新	一六・〇〇	一六・〇〇	一五・四〇	…
東亞新	二六・五〇 二六・五〇	…	二六・五〇	二六・五〇
仁取	一三・〇〇	…	一三・五〇	…
鮮銀	一三三・九〇	…	一三三・七〇	…
同新	四三・五〇	…	四三・一〇	…
殖銀	五一・八〇	…	五一・五〇	…
實銀	八・七〇	…	…	…
商銀	四三・五〇	…	四三・〇〇 四三・〇〇	…
同新	二一・〇〇	…	二〇・九〇 二〇・五〇	…
漢銀	三一・五〇	…	三一・七〇	…
同新	…	…	…	…
韓銀	三〇・八〇	…	三一・〇〇	…
東拓	五五・三〇	…	五五・三〇	…
鮮土	一一・〇〇	…	一一・〇〇	…
朝紡	一七・八〇	一七・八〇 一七・九〇	一八・二〇	一八・一〇 一八・二〇
滿毛	一四・八〇 一四・九〇	一五・一〇 一五・四〇	一五・六〇 一五・四〇	一五・五〇
京電	四七・五〇	…	四七・六〇	…
同新	三三・五〇	…	三三・〇〇	…
電興	…	…	八・八〇	…
東亞	五九・〇〇	…	…	…
朝煙	四三・〇〇	四三・五〇	四三・〇〇	…
朝郵	…	…	…	…
殖鐵	九・五〇	九・五〇	九・五〇 九・五〇	…
中鐵	三三・五〇	…	三三・五〇	…
滿鐵	一二四・〇〇	…	一二四・〇〇	…
同新	三四・六〇	…	三四・三〇	…

東京現株

銘柄	二十六日前場	廿五日後場
鮮銀	一三三・〇〇	一三三・〇〇
同新	四一・五〇	四一・〇〇
東拓	五五・五〇	五四・〇〇
同新	一六・〇〇	一五・〇〇
滿鐵	一〇四・〇〇	一〇三・〇〇
同新	二〇・〇〇	二〇・五〇
殖銀	五一・五〇	五一・五〇
東株	二五・五〇	二六・〇〇
同新	一二五・〇〇	一二六・〇〇
進取	三六・七〇	三六・五〇
滿毛	七八・〇〇	七八・〇〇
朝紡	一六・五〇	…
滿糖	一八・〇〇	…
日紡	九二・五〇	一二一・〇〇

大阪株式

銘柄	二十六日前場寄付	二十五日後場大引
大株	一一九・〇〇	一一八・九〇
同新	七〇・九〇	七一・一〇
郵船	三七・四〇	三七・一〇
同新	五一・五〇	五一・〇〇
商船	六三・九〇	六三・〇〇
同新	二〇・六〇	二〇・一〇
鐘紡	二四・七〇	二四・九〇
同新	一三・四〇	一三・七〇
東紡	一一・五〇	一一・五〇
東紡	七六・一〇	七五・五〇
上取	七二・五〇	七二・五〇

銘柄	二十六日前場大引	二十六日後場寄付
大株	一一九・〇〇	一一九・三〇
同新	七〇・九〇	七一・〇〇
郵船	三五・四〇	三八・二〇
同新	五一・四〇	五一・九〇
商船	六三・九〇	六四・〇〇
同新	二〇・五〇	二〇・六〇
鐘紡	二四・八〇	二四・九〇
同新	一三・四〇	一三・九〇
東紡	一一・五〇	一一・五〇
東紡	七六・一〇	七七・六〇
上取	七二・四〇	七二・六〇

大連株式

○二十四日	寄付	止め
連取當限	三五・八〇	三五・八〇
東實先限	三三・〇〇	三三・〇〇
滿鐵	…	…
同新	…	…

安東株式

○二十六日	寄付	大引
安取當	一六・九〇	一七・二〇
安取先	一七・四〇	一七・四〇

前場は手堅

今朝は漢銀韓銀東拓の七八十錢安を示したる外は概して手堅き成行を呈し京取も商內機まざるが三回發會後は堅かりし維持しドタ／＼は無數の買物ありて依然三回十錢を保ち朝紡は前日の商況を見ざりしも今週十七圓五十錢と新四强く保合來週は九十錢と更に十錢方引締め

滿毛は今週五十錢高の十四圓九十錢

と伸び來週は吉見崎の買物に寄付十五圓十錢より四十五圓四十錢の步みを見せて三百餘枚の手合せあり前日より一圓高

朝煙は前日より一圓高

朝煙は引續き買物ありて四十三圓方の急騰を演じ其他は一二十錢の小高下にて氣配變らず

後場一頓挫

後場は前場引締りの反動として概ね鮮銀一圓二十錢安

漢銀新株三十錢安商銀新株五十錢安京電新二十錢安を示したるが朝紡滿毛は內地の商賣に刺戟され三五十錢方引續き今週來週共に十八圓二十錢高に寄りたるが大引十錢高に寄り付け結局五十錢高に了りし其他は一二十錢の小動なりき

滿毛株昂騰

滿蒙毛織株は特殊の料料として來た何等傳ふる處なきも商品を立ち今朝は更に吉見崎の買注入り込み出に至り九十錢來週十五圓十錢を採みて結局四十錢高の五十錢に寄付き打止め

朝煙株續騰

朝鮮煙草は昨後場一氣に二十錢方を騰し之れ今朝は引續き品薄にて買進み來週一圓方に乘じ二十錢高の買上げ依るものさじたる買進の注意を惹き商內も極めて少數の模樣なるが發會值三十九圓なる上拔き安値より六五圓方引返したるは多少の注目に値すべし

朝紡內地高

今朝東京現株は朝紡十八圓五十錢入れ當地より小一圓方上鞘に居れるか前日來買崩したる同株は今朝十七圓九十錢處に保合ひたるが右は電報は後場の市場に反映して更に買上げらるべく期待さる

東京の東亞株

東京に於ける東亞煙草株は昨日の確定と共に相當買氣ある模樣なれど現在十六圓新二十五圓唱へにて當地より下鞘なりと

前場ノ乙部

今朝の乙部は安取の一服後に商內振はず安取來週十七圓七十錢大新今週七十一圓二十錢を出來せるのみ

後場ノ乙部

安取來週十七圓八十錢今週十七圓十錢▲大新來週七十一圓三十錢▲上取今週七十一圓五十錢

主要株歩ミ値

	滿	毛
出來高 甲	二千六百六十枚	
乙	三百七十枚	
累計 甲	一萬七千百五十八枚	
乙	一萬二百五十四枚	

株界片々

內地では金融緩漫の勢いに自ら株界の人氣を引立て[illegible]

可驚早電報

株式 期米綿糸通信

京城南大門通一丁目 朝鮮商業通信社

金融ご株式

▲公債から社債社債から銀行保險等確實なる株式へと資金は流れ込みつゝある▲斯くして不安と悲觀に充ち滿ちたる株界も一路の春風を感じつゝあり▲同時に又權道から出た人氣相場でなく正當の經路を踏んで來た相場で▲消長微妙の人氣に招かれしもので[illegible]

米況（廿六日）

仁川期米

前場頭重

前日阪地の止め高と共に小口の買物にチリ／＼高の二十二圓六十一錢に引締りしも手堅く打止め今朝は更に人氣强く大阪氣配の小高きに[illegible]

期米雜觀

[illegible]

氣乘薄閑散

[illegible]

場面樣變り

[illegible]

後場氣丈

▲第一節 大阪前止め二十六圓三十一錢▲第二節 當中出來ず先二十錢▲第三節 當中出來ず先十四錢▲第四節 先六十錢より五十八錢▲第五節 先五十九錢と押し六十錢引

○廿六日前場	寄付	止
一節	二二・六九	二二・六九
二節	二二・五九	二二・五八
三節	二二・五七	二二・五六
四節	二二・五四	二二・五六
五節	二二・五三	二二・五三
六節	二二・五九	二二・五九

▲二十五日後場	
一節	二二・五三
二節	二二・六一
三節	二二・六二
四節	二二・四八
五節	二二・五一
六節	二二・六〇

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 〇仲買店 長電話 九〇六番

仁川米豆取引所仲買人 本店電話 一七二三 〇仲買店

强氣の主張

[illegible]

京城延取引

玄米

期近米の小往來に相場[illegible]

大豆

[illegible]

一末又復肩代

[illegible]

前場商內

	玄米	大豆
一月末渡	二、〇〇〇石	
二月末渡	一、九〇〇石	
三月中渡	一、〇〇〇石	二〇〇石

西山愈受米乎

過般來買方の主力と目されし西山派の旗色不鮮明に提灯連の氣迷ひを傳へたる阪地も其後同筋態度を據べ[illegible]

買賣差引殘

[illegible]

京城正米

各地一高一低に高値は買はず安値は賣らず雙方見送狀態にて今朝は地場上玄二十圓六十錢中二十九圓八つ錢の持合ひ唱へを告げたり

白米移出調談

白米移出口は一昨午後大阪著二十四圓五十錢處を雜せしも昨午後二十七圓十錢迄の注文入込み若干の手合ひ行はれたる模樣なり

東京期米

○二十六日前場	寄付	先限
二節	二六・七四	
三節	二六・六九	
四節	二六・七七	
五節	二六・六七	

大阪期米

○二十六日前場	
當寄	二六・三九
止め	二六・五八
中寄	二六・四七
止め	二六・四三

下關期米

○二十六日前場	寄付	止め
當限	…	…
中限	二六・一四	二六・一四
先限	二六・一四	二六・一四

各地期米

○二十五日後場止め			
東京	二六・六〇	大阪	二六・三三
兵庫	二六・五〇	下關	二六・〇〇
桑名	二四・八五	名古屋	二五・七六
熊本	二六・五〇	金澤	二四・三〇

大阪三品

○二十六日前場寄付　前場大引 倫敦銀塊相場三十九片四分の三 安

	二十六日後場寄付	後場大引
一月限	三四・〇〇	三四・〇〇
二月限	三四・九〇	三四・〇〇
三月限	三四・九〇	三五・九〇
四月限	三四・九〇	三五・九〇
五月限	三五・九〇	三五・九〇
六月限	三五・九〇	三五・九〇

釜山正米

[illegible]

內地氣丈平

東京大阪正米は共に後引續き持合ひの姿なるが下關は今朝三十錢高の氣配なり

仁川米豆取引所仲買人 吉金仲買店 電話長八三番 八五番 長七六 四番

仁川在庫數量

[illegible]

南大門驛着穀物

[illegible]

演藝案內

黃金館 金町 二六三七 第二十八回新編 [illegible]

喜樂館 本町一丁目 電五九七番 暴風雨の夜 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

浪花座 本町五丁目 電話二三八番 [illegible]

壽館 電話二一七番 本町七八五 [illegible]

期米必勝法傳授 一月初必勝法 小巾法 大巾法 百戰百勝の勇者たらんとするの士は速に來つて容易に此秘法を會得し新市（四月限）よく出に備へあれ（詳細返信料添附照會）彼の根底ナキ雜ト同一視スル勿レ 仁川濟町 仁川旅館內 奈義庵

石材値段 同業者協議ノ結果爾今京城市內ニ於ケル値段ヲ左ノ通リ定メ候也 一材石一切ニ付 金九十錢 一間知一個ニ付 金二十二錢 京城材石組合 同業者

猿馬印 手足耳のかゆみ、いたみ、ただれ、くずれ、によくきく 靈藥 しもやけ根切薬 定價三十錢 二十錢 十錢 全國藥店に有 本舖 東京日本橋區上槇町三 安川昇榮堂

大分セメント出張所 京城府漢江通り七番地 龍山工作株式會社內 大分セメントノ品質優良ナルハ 大分セメント廉價ナルハ 大分セメントノ高評ナルハ 安心シテ購入ノ出來ルセメントハ ○○○○○○○○○○○○○○大分セメントナリ 多少ニ不拘御用命仰付被下度候 京城府漢江通七番地 龍山工作株式會社 電話龍山六二六番

天下の名釀 白鶴 發賣元 合資會社 增田屋商店 仁川府本町

資本金參千萬圓 年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務並貯蓄預金業務を取扱申候 京城府南大門通二丁目 株式會社 朝鮮殖產銀行 頭取 有賀光豐 電話長六〇一 四番 營業振替貯金口座 九番 道金庫振替貯金口座特一〇參番

優等清酒 菊 福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店 京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話長一〇三九番 振替口座四三九番

控訴院移轉提案

迷子 二十五日午後七時頃總督府元町二丁目六八番地道路上に一名

天氣豫報 晴 （自廿六日午後六時至廿七日午後六時）

曙(あけぼの)

徳田秋聲 作 (挿畫)近藤紫雲 畫

第五十一回

お須磨の心(1)

『はてね』と云つた顔で、辰衛は考へてゐたが『一體、それは如何いふ方面の人ですか』

『ぢや貴公は所謂に御存じないの』お須磨は、僻むやうな表情をして『それぢや私、こんなことを言つては、悪うござんしたわねえ』

『何か悪いようなことでもあるんですか』

『さあ、それは私にも實は解らないんですけれど、その人はね貴公の奥さまのお友達らしい方ですのよ』

『家内の友人?然うですか』辰衛は笑ひながら、思ひ出したように貴に火をつけて『それが奈何かしたとでも、云ふんですか』

『いゝね、奈何したと云ふんぢやアないんですけどね。私その方にね、過日修善寺でお目にかゝりましたの、絢子さんは、よく其方とね、一緒に出歩いてお出でのやうでしたわ』

『それぢや何か、絢子の弟の友達とか何とか云ふんでせう』と云つたような表情を繕らないとしたが、しかし、辰衛は何だか氣にかゝり出した。殊にお須磨が裏面に物のはさまつたような言方をするので、彼は一層變な氣がして來た。

『然うなんでございませう、多分……』と、お須磨も輕く頷いて『それに温泉場なんかではね、誰しも窓屏なもんですから、左様懇意でない方でもね、ついお互に打解けたお話をするようになつて了ひますんですよ』

『それあ、然うでせうともね。人間と云ふ奴が、元來社交的の動物ですからな。それに、女なんか一體相手を求めたがる性質の者なんだから、それに不思議はないでせう』辰衛は、愈々落ない顔をしたが、ふと氣付いたようだが『絢子は別にそんな話もしなかつたですがなあ』

『然うですか』と、お須磨は思はせ振りな顔をして『尤も別段お話するともないからでせう、それにまたね、迂闊男の方の嫉妬なんかして、貴方の感情を悪くしてもいけないとお思ひになつてらつしやるんでせうから』

『だつて、友達の話をしたつて何も僕が兎や角言ふ筈はないぢやありませんか。あなたも妙なことを言ふんですね』辰衛は、男として、そんな嫉妬深い者に見られたなと思つて、むつとしたのだつた。

『いゝえ、それあ然うですわ。でもね、人の奥さんになつてゐますと、まあ然うも出來ませんですからね。絢子さんにしたつてきつとそんなことをお考へになつてらつしやるんでせう、思慮深ひつて方ですわ』

『あなたの云ふことは、僕には意味が解らない。いつもあなたは、そんな風に話をこんがらかして行くんですね』と、辰衛はついつけ〳〵とした口調になつて『そんなことを言はないで、率直に云うなら云うと、それが特に注意すべきことであるなら尚しものこと、正直に明からさまに聞かして貰はうぢやありませんか。ね、お互に一つ家にかうしてゐるんですから』

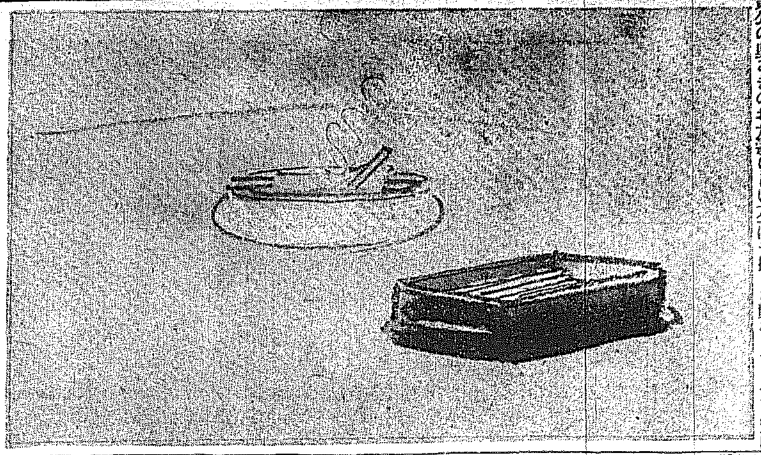
『それあ、何時も私から申上ることですわ。私こそ、かうして後から入つて來て、貴方方に厄介をかけてゐるんですもの。うるさいでせうけれど、今後ともよろしくお願ひしますわ』

辰衛は思はず冷笑して『困るですなあ、あなたは』と、卷煙を邪見に灰皿に投込んで『そんなこと、今言つたことは大體話が違うぢやありませんか。……だが、しかし、もう止しませう。ね、そんな話は。僕にしたつて、餘り面白いとは思はないんだから』

『ゐゝね、然うでせうつてね。貴方は何時も私のお相手にはなつて下さらない方なんですから……』と、お須磨は少し自棄氣味に言つて、ぢろりと辰衛を睨やつた。

『相手とは?何ういふ意味ですか』

辰衛は佶となつて言つた。



京城明治町 電話二三四〇
産科婦人科 中央婦人病院
院長 衣笠舜山

タオル
神戸タオル特約 一手販賣
京城若草町四〇
御用商 上月商店
電話一〇三五番 振替京城五三三一番

日報詞苑

投稿歡迎

△和歌 題隨意
△俳句 同
△川柳 題不定期發表
△情歌 題『夢』『旅』
△制限 各題共五首…五句以内
△締切 毎土曜日
△用紙 葉書に限る
△宛名 京城日報社日報詞苑

川柳 劍花坊選

○病 龍山 美津紋

病上りの鏡を息にくもらせる
病院の窓から國の空が見れ
看護婦と見ぬふりをして脈をとり
蒼白い顔が殘つた秋の濱
追分と咳で靜かな逗子の濱

○ 京城 ぴん坊
○ 京城 黑ン坊

病室を訪へば默つて見つめてる
三四枚蒲團をかぶり唸つてる
病人が出來ますぞへと後妻

次の川柳

課題 『河豚』『姑』
賞金 天の句へ賞品
締切 二月十日
句數 五句以内
宛所 本社詞苑係
用紙 葉書に限る

河豚(ふぐ) 例句 古川柳
ぐ命を惜まんや
河豚汁を食はぬたわけに食ふたわけ

姑(しうとめ或はしうと)

例句 古川柳
下女いびり呪んや嫁に於てをや
叱らずと隣の嫁をほめて置き
姑ごとうじくれても年ながし

新刊紹介

▲柳家小さん落語集(鈴木快文庫) 宗論、芝居の穴、天災、魚づくし、盛つき村、そろ丸太夫、捌取魚、成金、東高砂屋、越後獅子、植木屋等何ぞいつても小さんが一生懸命に鍛ね上げた一粒選の落語ばかりを集めてある(六十錢東京淺草區東三筋町平和堂)

▲戀愛(創刊) 性慾學の大家澤田順次郎氏の主幹せる雜誌『性』と姉妹關係を結んで發刊したもので誰も知る青柳有美氏の主幹せる月刊雜誌であるから内容は一々紹介しなくとも眞面な若い男女は勿論一般家庭向きとしても有益なこと疑ひなし(四十錢東京神田猿樂町天下堂書房)

▲朝鮮總督府觀測所年報(大正七年報文之部) 雷雨調査(平田技師)朝鮮地方降雨概觀(同上)地磁氣觀測成績(横田技師)朝鮮古記録中の彗星記事(關口理吉)を掲ぐ(朝鮮總督府觀測所)

▲日本之關門(新春號)大下閣氏現さ大傳物部の設置(柳社長)新社的組織の建設(堀江博士)國民道徳と普選(内田鶴吉)其他樺太滿洲等に關する記事にして讀むべきもの豐富(六十錢下關東南部町王司其社)

▲朝鮮及滿洲(二月)内容に朝鮮及滿洲の活事を語る(釋尾社長)世界平和の根本思想(尾崎行雄)朝鮮統治狀況に就て(齋藤總督)朝鮮の鐵道に就て(和田鐵道部長)總督府の新舊人物(ヒマラヤ山人)朝鮮獨立騷擾史(本社編輯)佛國情話見果てぬ夢(矢橋小蛇郎)等(五十錢京城永樂町其社)

▲松之實(二月)在半島俳句同攻者によりて成れる團體の發行する月刊雜誌(非賣品)(山口元一其社)

▲大阪銀行通信録(二月)五十錢大阪東區北濱大阪銀行集會所

▲陽明主義(新年號)十五錢大阪市東區東江御靈跡洗心洞文庫

▲麻と綿(二月)三十五錢東京京橋區銀座尾張町其社

▲人格と幸福(十二月)十錢京都帆岡萬壽小路明治修養會

▲電氣之友(二月十五日)四十錢東京京橋區南金六町電友社

徒者ちん

△一月二十二日の本紙に蘭井見さきい氏に宛て[illegible]

△一月十四日京城日報讀者欄に(會社事務員希望)[illegible]職業紹介所はありませんか一寸御尋ね致します[illegible]

△[illegible]私は明治卅五年の陰暦七月六日生れですが當六日は大陽暦の何月何日に相當するでせうかお知りの御方は本社へ御知らせ下さい(御願ひ生)

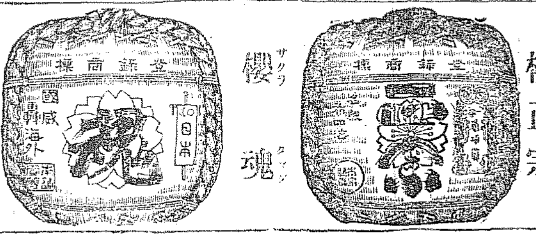
△一月十四日京城日報讀者欄に(會社事務員希望)[illegible]

△[illegible]の木材商へ入店希望の方へ告ぐ小店は田舍の木材商にて店員の缺員にて至急雇入れたし相互間に於て協定出來ざる場合は往復旅費に負擔す[illegible]

△歐洲戰亂の爲めに物價の騰貴の際は到る處に起りて何一つ買ふにも物價は騰貴と勝手の利を得たものだが現今の様に物價が下落する時商人は物價が下落は理由とせずして依然と物價騰貴時代の儘で値下は、行せず(湖南線井邑浦尾)

△世は勝手と悲心の至淡床に下宿屋等の如きは米代が五十錢の時も二十八九錢の時も同一とはちと暴ぎではないか政府も騰貴の際ばかり暴利令なんか布かずに物價下落の時も矢張暴利取締令を布かれたら如何です(空腹生)

りん病 ばい毒
請合藥 有田
特別 八圓 並三圓 送料十二錢
特別 四圓 並二圓 送料十二錢
◎痳病藥主藥は治痳劑として
◎梅毒藥主藥は驅梅内服藥として
歐米醫學上最有効と確定し
米國醫科大學大病院等にて賞揚配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を證見せる時は
分析料 百圓進呈
◎あらゆる治療を爲すも効なき患者は兎に角一度來談あれ
本舗 東京 大阪 有田音松
東京日本橋通四丁目
大阪心齋橋筋本町
發賣所 有田ドラッグ
朝鮮專賣所 京城南大門外電車通 有田ドラッグ
長電話二五六七〇 振替京城四六七
鮮滿專賣所
京城黄金町電車通
全鐘路十字街
龍山三角廣場
釜山辨天町二丁目
群山東榮町
木浦榮町
元山本町二丁目
平壤道廳正門向
鎭南浦三和町
仁川宮町二丁目
大邱京町停車場通
咸興本町二丁目
晉州大安洞
安東縣市場通
長春城内大馬路
奉天松島町
滿洲專賣所 大連岩代町磐城町角 有田ドラッグ
有田音松
に せ ト ラ ッ グ
有田ドラッグにてお買取れ
昔 松



櫻正宗(サクラマサムネ)
櫻魂(サクラダマシヒ)
釀造元 山邑酒造株式會社 兵庫縣灘魚崎
發賣元 山邑酒造株式會社 京城支店 京城南米倉町一丁目

本邦人の整容美髪と家庭經濟に叶ふ理想品

眞に皮膚毛髪の衛生美容に適する理想的家庭用品

○ミツワ石鹼(みつわ・せつけん)

ミツワ石鹼は其製造の目的が、本邦人の皮膚毛髪に叶ふといふことに存してゐるので、舶來石鹼や或はそれを模倣した石鹼とは、全然製造法を異にせる特殊の方法で、精製されてゐる。優良なる品質は他に絶無の特徴を具へて、本邦人の皮膚毛髪の洗滌に最も適合してゐる。夫故に常にミツワ石鹼を使へば、皮膚は美しく整へられ、自然の色艶は益々艶やかに化粧の下地たる地肌は、整へられるので、化粧は思ふまゝに美しく、生彩を發揮されるのである、皮膚の衛生と艶美とを欲する方には、最も肝要な洗料である、本品の特徴を云ふと

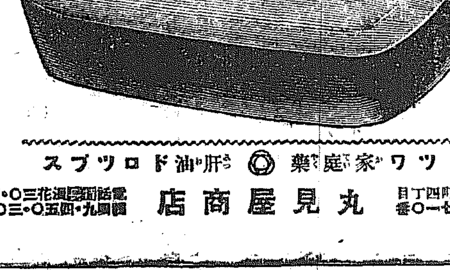
一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず

二、適度の溶解性を具へて、而も半途に溶け崩る、憂なし

三、本邦人の皮膚毛髪の洗滌に最も適合す頗る實用的なる故に家庭經濟に叶ふ

大形	金参拾参錢
中形	金貳拾五錢
小形	金拾六錢
極小形	金七錢
水石鹼	金五拾錢

内地以外は關税運賃を加ふ



監督技師 工學士 藤野太治郎

ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロップス

東京市日本橋區橘町四丁目 振替貯金口座東京七一〇一番
丸見屋商店
電話浪花三〇四八・三〇〇〇番 四五〇・九四〇番

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general wines. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual. Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

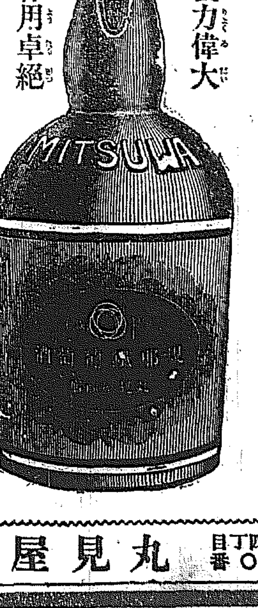
Price ¥ 2.00

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

○ミツワ規那鐵葡萄酒(みつわきなてつぶどうしゆ)

滋養强壯料

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶



定價 壹壜 金貳圓 内地以外は關税運賃を加ふ

本品は山梨縣宮崎葡萄酒醸造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特種の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯等の効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の衰弱、一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲

一、一般に貧血して居る人
一、榮養の不足なる人
一、顔の色澤悪く艶の無い人
一、生來虚弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、手足が冷えて眠つかれぬやうな虚弱い人
一、身體の痩削けて居る人
一、食餌の進まぬ人
一、産後や病後の衰弱を早く回復したい人
一、勉強又は勞働して疲れたる人
一、結核や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、肺病即ち結核に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他結核性の病等にて發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎や遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に惱はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黄病など血液の病に侵されて居る人

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京七一〇一番
丸見屋商店
電話浪花三〇四八・三〇〇〇番 四五〇・九四〇番

汽車時間

京釜線 / 同 / 湖南線 / 京義線 / 同 / 馬山線 / 京元線

[illegible]

大正九年十一月廿一日改正